

日本地域看護学会第28回学術集会



ポケットプログラム



地域共生社会のこれから ～全ての人がつながりあう社会をつくる～

2025年9月6日(土)～7日(日)

日本赤十字看護大学
広尾キャンパス (東京都渋谷区広尾)

学術集会長
石田 千絵 (日本赤十字看護大学地域看護学教授)

目 次

ご挨拶	1
日程表	2
会場へのご案内.....	6
会場配置図	7
ご参加の皆様へ.....	8
現地・オンデマンド 共通のご案内.....	8
現地参加のご案内	11
発表者の方へ	14
一般演題 (口演) 発表の方へ	14
一般演題 (示説) 発表の方へ	15
座長の方へ	17
一般演題 (口演) の座長の方へ	17
一般演題 (示説) の座長の方へ	17
委員会企画・ワークショップ世話人の方へ	18
プログラム	
第1日目.....	20
第2日目.....	24
オンライン教育講演一覧.....	27
ワークショップ一覧	28
常設特別企画一覧.....	30
一般演題 (口演) 一覧.....	32
一般演題 (示説) 一覧.....	36
協賛一覧.....	
委員一覧.....	46

ご挨拶

日本地域看護学会第28回学術集会 学術集会長

石田 千絵

日本赤十字看護大学地域看護学教授

2025年9月6日(土)・7日(日)、日本地域看護学会第28回学術集会を日本赤十字看護大学広尾キャンパスにて開催いたします。

2025年は、団塊の世代が後期高齢者となる節目の年です。これまで「地域包括ケアシステム」の構築が進められてきましたが、近年はさらに、高齢者に限らず多様な人々が生きがいを持ち、それぞれが人生の主演として暮らせる社会として、世代や制度の垣根を越えて共に生きる「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが広がっています。

本学術集会では、この節目の年にふさわしい主題として、「地域共生社会のこれから ～すべての人がつながりあう社会をつくる～」をテーマに掲げました。

プログラムでは、地域共生社会に関連する講演のほか、多様な人々を主演としたシンポジウムや交流集会を行います。たとえば、子育て世代への支援を掲げる東京都渋谷区の取り組み、農民の生活を守る長野県佐久市の医療・看護職の活動、そして「地域・在宅で暮らすすべての人」をエンパワメントする地域看護の実践など、あらゆる実践から学ぶ機会を設けています。

さらに、オンデマンド教育講演では、難病や障がい(知的・身体・精神)を抱えながら地域で暮らす当事者や家族の想いを通じて、支援する人・される人という枠を超えた新たな視点を得ることができます。今回は3つの常設の部屋を設け、キッチンカーも用意し、五感を通して楽しみながら学べる場を整えましたので、学術的な知見と生活に根ざした実体験により、参加をされる皆様ご自身が地域看護の未来を再考する機会になると思います。

また、公衆衛生の基本である「水」や「トイレ」、さらには「貨幣」にまで議論を広げ、「地域共生社会のこれから」を多角的に考える機会としています。これらを改めて問い直すことは、暮らしの基盤を支える大切さに気づき、地域共生社会を「理念」から「日々の生活」へと落とし込むとともに、「これから」を考えるための大切な視点になると考えています。

本大会が、多くの方々にとって活発な意見交換と情報共有の場となり、「すべての人がつながりあう社会」を共に考える契機となれば幸いです。

多様性のまち・渋谷区の広尾キャンパスで、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

2025年9月吉日

第1日目 9月6日(土)

	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場	第 5 会場
	広尾ホール (1F)	201 講義室 (2F)	301 講義室 (3F)	202 講義室 (2F)	206 講義室 (2F)
9:00	9:00-9:10 オープニング				
	9:10-9:40 学術集会長講演				
	9:40-10:40 基調講演 地域共生社会の未来と可能性				
10:00					
	10:50-11:40 地域共生講演 つなげる力：地域共生社会の実現に向けた持続可能なコミュニティづくり				
11:00					
	11:50-12:40 会員報告会・表彰	11:50-12:50 ランチョンセミナー 1 介護と仕事の両立支援 ～介護する人される人の 深層心理～ 共催：プライマリーアシスト 株式会社	11:50-12:50 ランチョンセミナー 2 医療・介護における 睡眠データの活用 共催：パラマウントベッド 株式会社	11:00-17:00 アートでつながる 部屋 (常設特別企画) 表現と共感の場： 看護師によるアート展示と 障害について語り合う	11:00-14:00 災害危機管理を 深める部屋 (常設特別企画) 地域を守る力を育む： 災害危機管理を終日学ぶ
12:00					
	13:00-14:30 シンポジウム 1 佐久地域における地域包括 ケアと地域共生社会の これから	13:10-14:20 対談 障害や病いとともに生きる 地域共生社会 ～幼少期からの友人同士の 対話を通じて、障害とは何 かを考える～	13:10-14:10 研究力向上 セミナー 1 質的研究：現象学的研究の 理論と実際		
13:00					
	14:40-16:00 シンポジウム 2 渋谷区の母子保健と 地域共生社会のこれから	14:40-15:40 教育講演 1 日本における保健師教育の 始まり：戦間期における国 際社会と日本赤十字社の公 衆衛生看護教育	14:40-15:40 研究力向上 セミナー 2 量的研究 “やったこと”から“届いた こと”へ ー保健指導を “研究で語る”視点を学ぶ		14:40-15:40 地域共生特別 ワークショップ 仲間とともに育む地域づく り～在宅看護CNSが捉えた 地域共生社会実現への種ま き～
14:00					
	16:10-17:40 特別対談 看取りの文化を地域共生社 会の中で語り継ごう				
15:00					
16:00					
17:00					
		ウエルカムドリンク 18:00-20:00 懇親会 会場：La Mensa jasmin (東京都渋谷区広尾4丁目2-24 聖心女子大学 聖心グローバルプラザ)			
18:00					

第 6 会場	第 7 会場	第 8 会場	第 9 会場	
204 講義室 (2F)	208 講義室 (2F)	203 講義室 (2F)	207 講義室 (2F)	
			9:00-12:00	9:00
			1日目 ポスター貼付	
				10:00
	10:50-12:00	10:50-12:00		11:00
11:00-16:00 暮らしを支えるケアの部屋 地域共生社会を足元から支える： フットケア体験	口演 第1群 高齢者保健・介護予防／地域づくり・ソーシャルキャピタル	ワークショップ 1 地域診断を通じた「行政保健師」 初学者の力量形成について考える		
				12:00
				13:00
	13:00-14:00	13:10-14:20	13:00-14:00	
	口演 第2群 健康づくり・ヘルスプロモーション、産業保健	ワークショップ 2 健康危機支援委員会 復旧・復興の「その後」を見据えた被災地支援のあり方 ～第2次現地調査を通じて見えてきた能登半島地震・豪雨の住まいと地域の分断と再生～	示説 第1群 精神保健・看護／障害児・者支援 子育て支援・虐待予防	14:00
	14:20-15:30	14:40-15:50	14:00-15:00	
	口演 第3群 障害児・者支援	ワークショップ 3 “ないならつくる”が地域を変える ～地域共生社会を支える草の根の挑戦～	示説 第2群 看護管理・人材育成・キャリア支援／事業・施策のマネジメント 地域包括ケア・協働・連携	15:00
	15:50-16:50	16:00-17:10	15:00-16:00	
	口演 第4群 看護管理、看護教育、その他	ワークショップ 4 次世代育成委員会 メタバース第3弾！ ～膝を突き合わせて課題を持ち寄ってみませんか？～	示説 第3群 在宅ケア・在宅移行支援／訪問看護・ケアマネジメント 産業保健・職域保健／健康づくり・ヘルスプロモーション	16:00
			16:00-17:10	
			ポスター撤去	17:00
				18:00

第2日目 9月7日(日)

	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場	第 5 会場
	広尾ホール (1F)	201 講義室 (2F)	301 講義室 (3F)	202 講義室 (2F)	206 講義室 (2F)
9:00					
10:00	9:20-10:30 理事会セミナー 宮崎美砂子先生を偲んで： 宮崎先生の主なご活動と 思い出	9:20-10:20 地域共生 特別セミナー 1 地域看護と地域共生社会の これから		9:20-14:20 アートでつながる 部屋 (常設特別企画) 表現と共感の場： 看護師によるアート展示と 障害について語り合う	
11:00	10:40-11:40 教育講演 2 地域高齢者の暮らしへの 理解を深める教育の試み ー教員が地域に“馴染む” ことでできたことー	10:30-11:30 地域共生 特別セミナー 2 ビュートゾルフ柏の取組か らみた地域共生社会のこれ から	10:30-11:40 パネル ディスカッション 目に見えない障害を持つ 当事者と家族		10:30-14:20 災害危機管理を 深める部屋 (常設特別企画) 地域を守る力を育む： 災害危機管理を終日学ぶ
12:00	12:00-13:00 招待講演 THE TOKYO TOILETの 地域共生的考察： 根源的おもてなし	12:00-13:00 ランチョンセミナー 3 地域在宅における看護師が 行う健康栄養サポート 共催：大塚製薬株式会社	12:00-13:00 拡大編集委員会		
13:00					
14:00	13:10-14:20 特別講演 まずは雨あってこそ！ ー地域共生社会を支える 雨に感謝ー	13:10-14:10 地域共生 特別セミナー 3 看護の価値の可視化と 地域共生社会のこれから	13:10-14:10 教育講演 3 災害時の情報支援 ー被災者の生活再建・健康 維持に求められる重層的情 報マネジメントとは		
15:00	14:30-15:40 市民公開講座 地域共生社会に向けての エール ～今とこれからの自分の 生き方～				
16:00	15:40-16:00 クロージング				
17:00					
18:00					

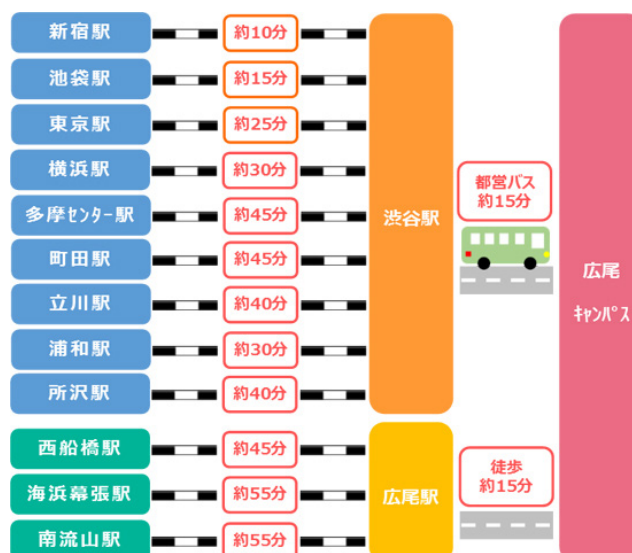
第 6 会場	第 7 会場	第 8 会場	第 9 会場	
204 講義室 (2F)	208 講義室 (2F)	203 講義室 (2F)	207 講義室 (2F)	
9:20-14:20 暮らしを支えるケアの部屋 地域共生社会を足元から支える：フットケア体験	9:30-10:40 口演 第5群 子育て支援・虐待予防	9:20-10:30 ワークショップ 5 保険薬局を拠点とした看護職の新たな取り組みと薬剤師との協働・連携のかたちを探る	9:00-9:50 2日目 ポスター貼付	9:00
	10:50-12:00 口演 第6群 訪問看護・ケアマネジメント、在宅ケア・在宅移行支援	10:50-12:00 ワークショップ 6 今、看護師に必要な地域における看護の教育内容を考える！～3学会合同委員会案より～	10:00-11:00 示説 第4群 地域づくり・ソーシャルキャピタル 子育て支援・虐待予防／思春期保健・学校保健	10:00
			11:00-11:50 示説 第5群 看護教育／事業・施策のマネジメント 高齢者保健・介護予防	11:00
	13:00-14:10 口演 第7群 地域包括ケア・協働・連携	13:00-14:10 ワークショップ 7 男性高齢者の社会参加の推進の取り組み	13:00-14:00 示説 第6群 子育て支援・虐待予防 看護管理・人材育成・キャリア支援	12:00
				13:00
			14:10-15:00 ポスター撤去	14:00
				15:00
				16:00
				17:00
				18:00

会場へのご案内

日本赤十字看護大学 広尾キャンパス

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3

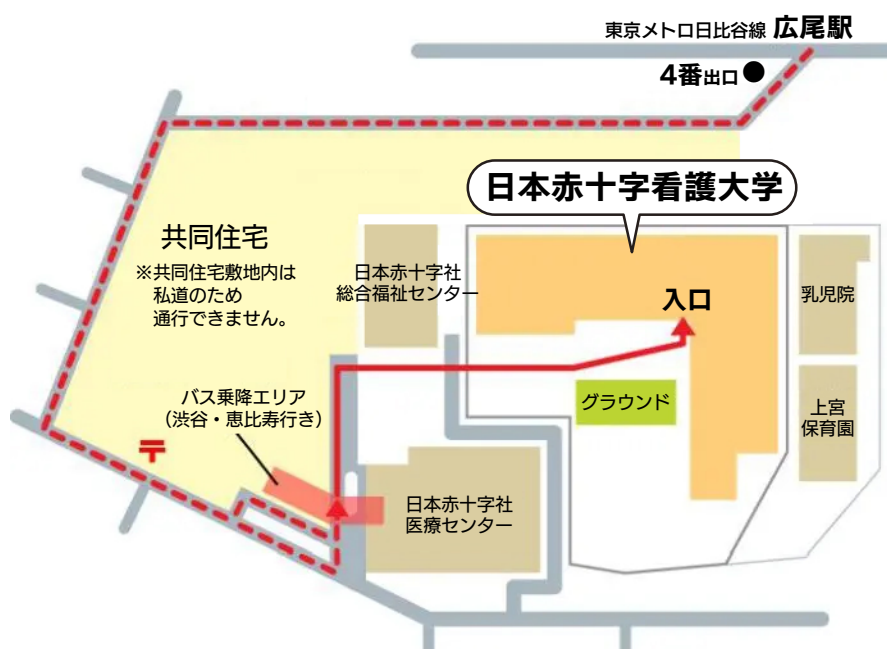
■ 主要駅からの所要時間



■ 渋谷・恵比寿駅からバスをご利用の場合

- 渋谷駅東口から (JR・東急・京王・東京メトロ)
都営バス「学03」系統 日赤医療センター行 終点下車 (約15分)
- 恵比寿駅西口から (JR・東京メトロ)
都営バス「学06」系統 日赤医療センター行 終点下車 (約10分)

■ 東京メトロ日比谷線 広尾駅からの徒歩ルート (約15分)

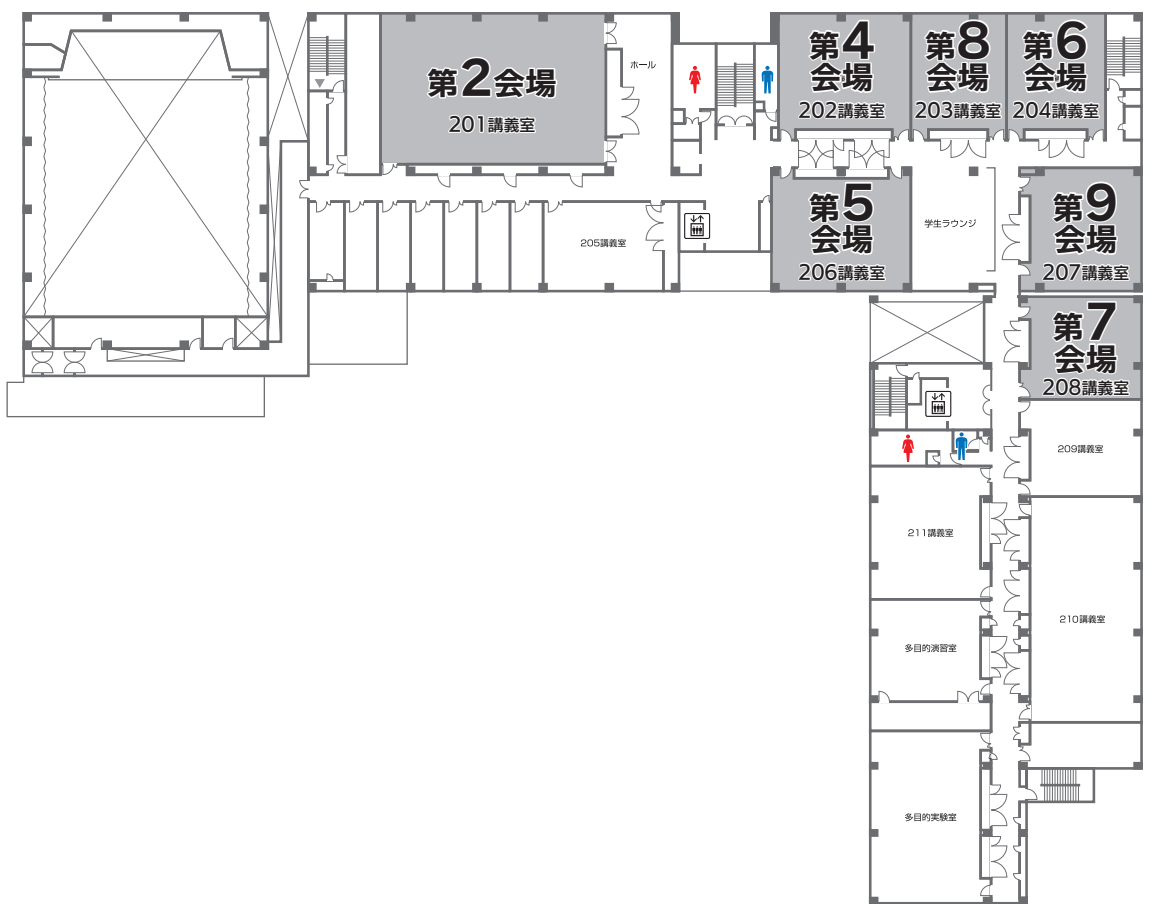


会場配置図

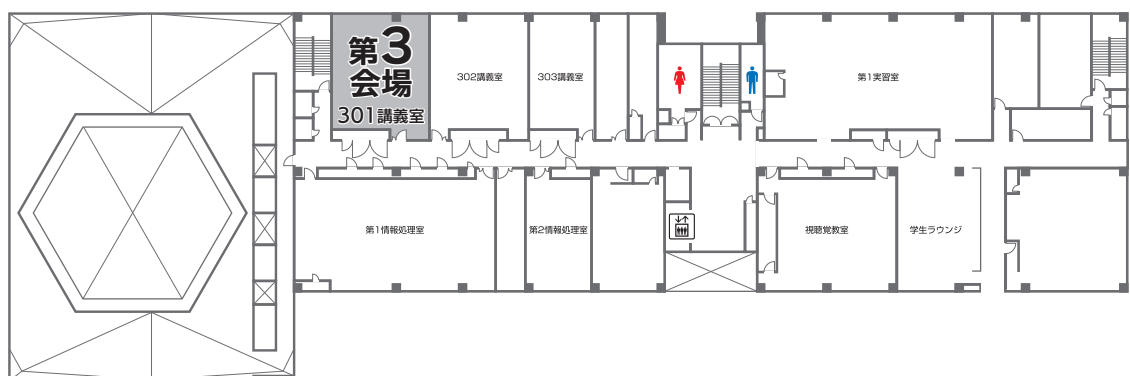
1F



2F



3F



ご参加の皆様へ

現地・オンデマンド 共通のご案内

1. 開催期間・会場

当学術集会は、現地開催＋オンデマンド配信にて開催いたします。

※ライブ配信は行いません。

<会場開催>

【会期】2025年9月6日(土)～7日(日)

【会場】日本赤十字看護大学 広尾キャンパス(東京都渋谷区広尾4-1-3)

<オンデマンド開催>

【会期】オンライン教育講演 2025年9月6日(土)～10月31日(金)(予定)

現地開催セッション 2025年9月22日(月)～10月31日(金)(予定)

【会場】学術集会オンラインページ

<https://online-conference.jp/jachn28>

2. プログラム別開催方法

プログラムにより、現地開催、オンデマンド配信の有無が異なります。

セッション	現地開催	オンデマンド開催 9月22日(月)～10月31日(金)
学術集会長講演	○	○
基調講演	○	○
地域共生講演	○	○
会員報告会・表彰	○	×
シンポジウム 1	○	○
シンポジウム 2	○	○
特別対談	○	○
対 談	○	○
ランチョンセミナー 1	○	○
ランチョンセミナー 2	○	×
ランチョンセミナー 3	○	○
教育講演 1	○	○
教育講演 2	○	○
教育講演 3	○	○
研究力向上セミナー 1	○	○
研究力向上セミナー 2	○	○
地域共生特別ワークショップ	○	×
理事会セミナー	○	○
招待講演	○	○

特別講演	○	○
市民公開講座	○	○
地域共生特別セミナー 1	○	○
地域共生特別セミナー 2	○	○
地域共生特別セミナー 3	○	○
パネルディスカッション	○	×
拡大編集委員会	○	×
オンライン教育講演	×	○ 9月6日(土)～10月31日(金)
ワークショップ 1	○	×
ワークショップ 2	○	×
ワークショップ 3	○	×
ワークショップ 4	○	×
ワークショップ 5	○	×
ワークショップ 6	○	×
ワークショップ 7	○	×
アートでつながる部屋	○	×
災害危機管理を深める部屋	○	×
暮らしを支えるケアの部屋	○	×
一般演題(口演)	○	○
一般演題(示説)	○	○

※オンデマンド配信：セッションを収録した動画

※最新情報を随時更新致します。

※演者の同意が得られない場合、その他の事情により、一部オンデマンド配信をしないプログラムもございますのでご了承ください。

<専門看護師・認定看護師の更新審査用の研修受講証明証の発行について>

CNS・CN向けの14の研修対象コンテンツ(オンデマンド配信を含む)を準備し、修了書をダウンロードできるように整備いたしました。詳細は下記よりご確認ください。

【研修受講証明証の発行】

<https://procomu.jp/jachn2025/re-examination.html>

<看護師養成校向け「教育活用特別参加登録制度」のご案内>

看護師養成校における教育活動を支援することを目的に通常、個人視聴を前提とする学術集会コンテンツを授業や校内研修等の場面で教育的に活用いただけます。

https://procomu.jp/jachn2025/pdf/jachn28_n-schools-info.pdf

3. 領収証・参加証・名札

学術集会オンラインページ(<https://online-conference.jp/jachn28>)上の「マイページ」よりダウンロードが可能です。

4. 講演集

講演集はデータ閲覧となります。現地開催の1週間ほど前に、学術集会オンラインページ (<https://online-conference.jp/jachn28>)「マイページ」から閲覧・ダウンロード開始となる予定です。

5. 表彰演題

以下の演題を優秀演題賞として決定いたしました。

2025年9月7日(日)第28回学術集会閉会式において、表彰式を執り行います。

演題番号	筆頭者	タイトル
O-1-4	田中 裕子	地域包括支援センター保健師の地域づくりに関する 専門能力評価尺度の信頼性の検討
P-2a-6	細谷 紀子	ICTシステムを活用した 人材育成・マネジメントを推進するためのガイドの開発
P-4a-6	岩瀬 靖子	多様な参画者の協働による地域づくりを促す研修教材としての活動事例集の作成 ー誰もが認知症と共に生きる共生社会の実現に向けてー
P-5b-2	海原 律子	社会的孤立の状態にある高齢者の理解と孤立した生き方を尊重した支援の検討
P-6a-1	谷川愛優花	精神疾患を有する母親への育児支援に向けた 保健師における多職種連携能力の実態と関連要因

6. 権利侵害についてのご注意

発表については、発表者に著作権や肖像権等の権利があります。発表者に許可なく撮影や録音をしたり、画面のスクリーンショットを撮ったりすることは権利侵害にあたりますのですべて禁止いたします。撮影・録音等を行っていることが明らかとなった場合には、それ以降の学術集会への参加をお断りいたします。十分にご留意ください。

7. 撮影・記録について

学術集会では腕章をつけたスタッフや許可を受けた取材者が撮影を行います。

ご不明な点がございましたら運営事務局までお問い合わせください。

現地参加のご案内

1. 受付場所と受付時間

【受付場所】日本赤十字看護大学 広尾キャンパス 1Fロビー

【受付時間】1日目 9月6日(土) 8:30~16:30

2日目 9月7日(日) 8:30~14:30

2. 参加登録費

参加区分	前期登録 (～7/14)	後期登録 (～9/5)	当日会場受付 (9/6・7)	オンデマンド配信受付 (～10/31)
会 員	10,000円	12,000円		
非会員	12,000円			
学生(院生を除く)	2,000円			

(課税区分) 会員：不課税、非会員・学生：課税(10%税込)

- 日本地域看護学会は免税事業者のため、インボイスの登録番号はございません。
- 学生は参加登録時に「学生証」のコピーの提出が必須です。
- 登録者の方は現地会場参加とオンデマンド視聴の両方が可能です。
- 現地会場での昼食は含まれていません。

3. 受付方法

<事前に参加登録費の決済がお済みの方へ>

- 参加登録(前期登録・後期登録)で決済が完了している方は、学術集会オンラインページ(<https://online-conference.jp/jachn28>)上の「マイページ」より「参加証」を各自でダウンロード・印刷してご持参ください。
- 参加証ホルダーは、受付の記名台に準備しております。

◆前期登録・後期登録期間内にご参加登録・お支払いいただいた方には
当日、学術集会オリジナルトートバッグをプレゼントいたします。

総合受付専用窓口で参加証をご提示ください。

※数に限りがございます。600個のご準備をいたしましたが、不足の場合はご容赦ください。

<参加登録費が未決済の方>

- 参加登録費が未決済の方は、参加登録時の自動返信メールより参加登録費の決済をお願いいたします。決済完了後、当日用のネームカードをお渡しいたしますので総合受付へお申し出ください。

<当日参加登録の方>

- できるだけ事前にオンラインで参加登録・お支払いをお願いしておりますが、難しい場合には当日「総合受付」で受付をいたします。
- 会場でのお支払いにはクレジットカード決済も可能です。現金でお支払いの場合は、おつりのないよう参加費をご用意ください。

4. クローク

- 日本赤十字看護大学 広尾キャンパス 1Fにクロークを設置致します。

【利用時間】9月6日(土) 8:30~18:00

9月7日(日) 8:30~16:30

- 貴重品・パソコン・傘はお預かりできません。
- 時間内のお引き取りをお願いいたします。

5. 飲食について

<ランチョンセミナー>

- ランチョンセミナーにお申込みいただいた方には、参加証(ネームカード)にお申込み内容を記載しております。
- ランチョンセミナー1、ランチョンセミナー3については、当日のお申込みも頂けます。総合受付へお申し出ください。
- ランチョンセミナー会場前にて、参加証(ネームカード)をご提示下さい。
- ランチョンセミナー開始5分後には、お弁当の引換えが無効となります。ご注意ください。
- ランチョンセミナーチケットがない場合でも、席に空きがあれば聴講はいただけます。
- 各セミナーの開始後、お弁当に余りがある場合は、お申込みのない方にも先着順でお渡しいたします。

<キッチンカー>

日本赤十字看護大学 広尾キャンパス入口前にキッチンカーを設置しております。

9月6日(土) 11:00~14:00

9月7日(日) 11:00~14:00

※数がなくなり次第終了とさせていただきます。

<日本赤十字看護大学生協購買部>

9月6日(土) 10:30~16:10

9月7日(日) 10:10~14:30

学会期間中、飲料・軽食・文具などを販売しております。

また、日赤オリジナルグッズも取り揃えており、来場記念やプレゼントにもおすすめです。

<休憩所のご案内>

日本赤十字看護大学 広尾キャンパス 1階 食堂を休憩室としてご利用いただけます。

※食堂としての飲食物の提供はございませんので、あらかじめご了承ください。

6. 企業展示・書籍展示

企業展示・書籍展示を実施いたしますので、ぜひご利用ください。

日 程	時 間	場 所
9月6日(土)	9:00~17:00	日本赤十字看護大学 広尾キャンパス 学生ラウンジ
9月7日(日)	9:30~14:30	

7. スタンプラリー

- 会期中、「各企業のブース」や「特別企画」を対象に、スタンプラリーを実施いたします。
- 参加証の一部分に設けております枠内に5個以上のスタンプが揃いましたら先着順でノベルティをご用意しております。
- スタンプが揃いましたら総合受付へお越しください。

8. 懇親会

【日 時】2025年9月6日(土) 17:30開場、18:00開宴(予定)

【場 所】La Mensa jasmin

(〒150-0012 東京都渋谷区広尾4丁目2-24 聖心女子大学 聖心グローバルプラザ)

【参加費】7,000円(税込)

【定 員】50名

※立食(ビュッフェ)形式での開催となります。

※参加登録時にお申込みをいただいた方にはネームカードに「懇親会」マークがついておりますので、直接懇親会会場にお越しいただき、受付をお済ませください。

※当日定員に空きがある場合のみ受付をいたします。総合受付にてご確認ください。

※懇親会の参加をキャンセルされる場合でも、懇親会参加費の返金はありません。予めご了承ください。

9. その他

- 会場にはWi-Fiのご準備はございません。
- 駐車場はございませんので、交通機関などを利用してご来場ください。
- 本学術集會に託児サービスはございませんが、発表者・聴講者の皆様へのご配慮をお願いできますようでしたら、小学生以上のお子様(無料)を同伴してご入場頂けます。
 - ◆ お子様が安全に過ごせるよう、目を離さないようにお気をつけください。
 - ◆ お子様の不慮の事故やトラブル等の責任は負いかねます。
- 本学術集會会場内は全て禁煙です。
- 会場内では携帯電話の電源を切るか、マナーモードにしてください。
- 会場内での呼び出しは行いません。
- 遺失物・拾得物
 - ◆ 会期中は総合受付(日本赤十字看護大学 広尾キャンパス 1F)にて保管します。
 - ◆ 落とし物の届出、検索は総合受付までお越しください。
- 災害発生時は各会場内の避難誘導に従い、避難してください。
- 体調不良、その他緊急時は、近くにいる学会運営スタッフもしくは総合受付までご相談ください。
- 感染症の流行や災害等により学術集會の自粛が必要な場合、速やかに現地会場での学術集會の中止を決定し、オンデマンド開催のみに切り替えます。この場合、学術集會ホームページに緊急掲示するとともに、会場の入口等に掲示します。

発表者の方へ

一般演題（口演）発表の方へ

- 現地会場にて口頭発表していただき、その様子をオンデマンド配信する予定です。

<発表ファイルの形式>

- 会場で使用するパソコンはWindows10、対応可能な対応するアプリケーションソフトはWindows版PowerPoint2019以降のバージョンです。
- 文字化けを防ぐためWindows10標準のフォントにて作成してください。
- スライドのサイズはワイド画面（16：9）でご作成ください。
- 発表データのファイル名は、「セッション名【演題番号】【氏名】」としてください。
- 発表データはUSBメモリでPCセンターにお持ちください。USBメモリに保存した発表データを別のPCにコピーし、正常に再生されることをご確認ください。
- Macをご使用の際は必ず上記環境のWindows PCにて動作確認の上データをお持ち込みください。
- 発表データは事務局の責任で完全に削除いたします。
- 発表スライド2枚目（タイトルの次のスライド）に利益相反について開示してください。

<当日の受付>

- ご発表のセッション開始30分前までに、PC受付（第1会場前）にて発表データをお持ちいただき、受付をお済ませください。ご自分のPCを持ち込む場合も、必ずPC受付にお立ち寄りください。
- データ受付後は発表されるセッション開始時間の10分前までに、会場前方左側の「次演者席」にご着席ください。

<発表について>

- 1演題あたりの発表時間は13分（発表8分、質疑応答5分）です。
- ご発表は口演によるPCプレゼンテーションです。スライド送りの操作は、演台上に用意しているマウス等を演者自身で操作してください。
- 音声出力は使用できません。
- 発表者ツールは使用できませんのでご注意ください。また、スクリーンは1面投影です。

<オンデマンド配信について>

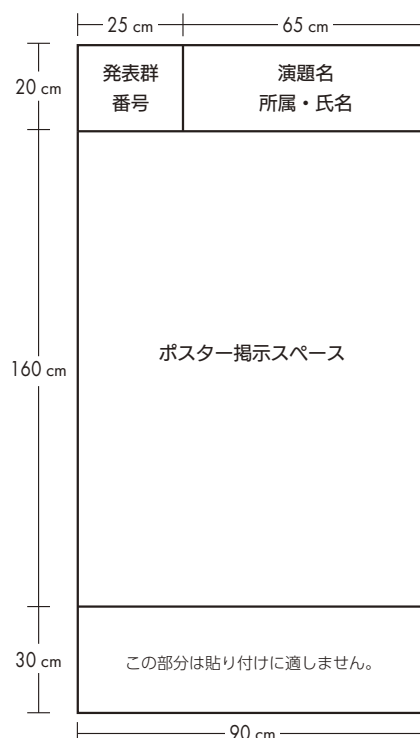
- 現地での発表をZoomにて録画し、オンデマンド配信期間中に配信します（質疑の部分は配信しません）。
- 配信は、2025年9月22日（月）～10月31日（金）までを予定しています。
- オンデマンド配信期間中、参加者は自由に発表ファイルを閲覧でき、コメントを書き込むことができます。可能な範囲で結構ですので、質問への回答などのご対応をお願いいたします。なお、投稿内容は他の参加者にも公開されますため、個人情報等は投稿しないようご注意ください。誹謗・中傷など、不適切な内容がある場合は、運営事務局にご連絡ください。確認の上、削除対応いたします。

一般演題（示説）発表の方へ

- 現地会場にて発表していただきます。オンデマンド配信用のファイルを期間内に登録していただいた場合は、発表ファイルをオンデマンドにて配信させていただきます。

<ポスターの形式>

- 1演題あたり横900mm×縦2100mmのパネル1枚と画鋏を用意しています。この範囲内にポスターを掲示してください。A3横の用紙の場合、10～12枚掲示できます。
- パネル左上部には演題番号（横250mm×縦200mm）を学術集会側で掲示しておきます。このスペースを空白にしてポスターを作成するか、この下にポスターを掲示してください。
- ポスター上部には、横650mm×縦200mmを目安として、タイトル・筆頭発表者および共同発表者の氏名・所属を掲示してください。本文枠内上部に掲載していただいても結構です。
- 利益相反についての記載を入れてください。



<当日の受付>

- 当日、演題発表者の受付は設けておりません。ポスター掲示をもって受付とします。定められた時間内にポスター会場のご自身の演題番号のボードに掲示してください。

<ポスターの掲示・撤去時間>

- すべての演題について、原則として以下の時間帯に掲示、撤去してください。
- 撤去時間を過ぎて残っているポスターは事務局で処分させていただきます。

	ポスター掲示時間	ポスター撤去時間
1日目 (9月6日)	9:00 – 12:00	16:00 – 17:10
2日目 (9月7日)	9:00 – 9:50	14:10 – 15:00

<発表について>

- 演題群の発表開始時間の10分前までに会場にお越しいただき、ご自身のポスター前で待機してください。
- 発表時間は10分（発表7分、質疑応答3分）です。座長の進行に従い、時間厳守で発表をお願いします。
- 発表時にマイクの準備はございません。

<オンデマンド配信について>

- 「オンデマンド配信」ページにPDFファイルを掲載する形で配信する予定です。演題毎に質問や回答ができる掲示板を設置します。
- 配信は、2025年9月22日（月）～10月31日（金）までを予定しています。
- 事前に提出していただいた発表ファイル（PDF）をオンデマンド配信期間中に配信します。

- ホームページの「発表者・世話人の方へのご案内」に掲載している「オンデマンド配信用ファイルの作成」を参照していただき、9月12日（金）までに発表ファイル（PDF）のご提出をお願いいたします。
- オンデマンド配信期間中、参加者は自由に発表ファイルを閲覧でき、コメントを書き込むことができます。可能な範囲で結構ですので、質問への回答などのご対応をお願いいたします。なお、投稿内容は他の参加者にも公開されますため、個人情報等は投稿しないようご注意ください。誹謗・中傷など、不適切な内容がある場合は、運営事務局にご連絡ください。確認の上、削除対応いたします。

座長の方へ

一般演題（口演）の座長の方へ

- 一般演題（口演）の座長は、セッション開始10分前までに会場にお越しいただき、次座長席にお着き下さい。
- 定刻通りに進行するよう円滑な運営にご協力をお願いします。
- 司会はありませんので、座長のご発声で開始、進行をお願いいたします。
- 発表は1演題につき13分（発表8分、質疑応答5分）です。時間厳守をお願いします。発表時間が長くなる場合は、手短かにまとめていただくよう発表者への声掛けをお願いします。
- セッションはZoomにて録画し、発表部分のみオンデマンド配信する予定です（質疑は含みません）。

一般演題（示説）の座長の方へ

- 一般演題（示説）の座長は、演題群の発表開始時間10分前までに会場内の座長受付にて座長用リボン等をお受け取り下さい。演題群の発表開始時間にはご担当のポスター周辺にて座長用リボンをつけて待機ください。
- 司会はありませんので、座長のご発声で開始、進行をお願いいたします。
- 発表時間は1演題につき10分（発表7分、質疑応答3分）です。時間厳守をお願いします。
- 発表者の欠席時は、発表を繰り上げて進行してください。

委員会企画・ワークショップ世話人の方へ

<当日の受付と終了報告>

- 開始時間の20分前までに、総合受付にてワークショップ受付をお願いします。
- 終了後はお渡しした用紙に参加者数(概数)などをご記入いただき、スタッフにお渡しいただくか、総合受付にご返却ください。ご返却は当日のうちにお願いいたします。

<室外の掲示について>

教室内壁面へのテープの貼り付けは厳禁です。壁面の保護にご留意ください。

<室内について>

- 開催会場はスクール形式(机と椅子がある形)です。
机や椅子は動かしていただいても結構ですが、時間内に原状復帰をお願いいたします。
- プロジェクター投影用のPCの準備はございません。PCお持ち込みの上、HDMI接続で会場のプロジェクター・スクリーンが使用できます。
- マイクはワイヤレス2本(ハンド型・タイピン型、各1)が利用できます。
- 上記以外の機器が必要な場合は原則として世話人をご準備ください。なお、持ち込み機材・備品の破損・紛失が生じた場合でも、学術集会事務局では責任を負いかねます。
- 照明や音響の操作方法等については開始前にスタッフをご説明いたします。

<発表ファイル>

- 発表ファイルの投影用PCの準備はありません。PC持ち込みの上、会場に備え付けのプロジェクター(HDMI接続)に接続して、投影してください。
- レイアウト崩れを防ぐため、Windows標準フォントを利用することをお勧めします。
- 開示すべき利益相反状態の有無や、有の場合はその詳細を入れてください。

<運営・片づけ>

- 開催会場の準備・進行・片づけは全て世話人の方が行ってください。開催中は会場内にスタッフはありません。
- 会場には、前のプログラム終了後に入場してください。
- 指定された時間内に片づけまで終了し、原状復帰して退出してください。終了後の休憩時間には次のプログラムの方が準備できるよう、ご協力をお願いいたします。
- 企画中に使用した物品および配布物等は、会場に残さずすべてお持ち帰りください。

プログラム

プログラム一覧

9月6日 土

学術集会長講演

第1会場 (広尾ホール)

9:10-9:40

「地域共生社会のこれから ～全ての人がつながりあう社会をつくる～」

座 長：麻原 ちよみ (大分県立看護科学大学)

講 師：石田 千絵 (日本赤十字看護大学 看護学部)

基調講演

第1会場 (広尾ホール)

9:40-10:40

「地域共生社会の未来と可能性」

座 長：石田 千絵 (日本赤十字看護大学 看護学部)

講 師：石田 昌宏 (参議院議員)

地域共生講演

第1会場 (広尾ホール)

10:50-11:40

「つながる力：地域共生社会の実現に向けた持続可能なコミュニティづくり」

座 長：石田 千絵 (日本赤十字看護大学 看護学部)

講 師：糟谷 明範 (株式会社シンクハピネス)

会員報告会・表彰

第1会場 (広尾ホール)

11:50-12:40

シンポジウム 1

第1会場 (広尾ホール)

13:00-14:30

「佐久地域における地域包括ケアと地域共生社会のこれから」

座 長：宮崎 紀枝 (長野県立大学 グローバルマネジメント学部)

シンポジスト：細萱 信予 (JA長野厚生連 人事部 部長 (前佐久総合病院 統括看護部長))

坂井 理恵 (佐久総合病院 地域ケア科)

吉江 紀子 (長野県 佐久市 福祉部 高齢者福祉課)

シンポジウム 2

第1会場 (広尾ホール)

14:40-16:00

「渋谷区の母子保健と地域共生社会のこれから」

座 長：井口 理 (日本赤十字看護大学 地域看護学)

シンポジスト：小内 亜弥子 (渋谷区保健所地域保健課統括保健指導主査)

庄司 由香里 (渋谷区神南ネウボラ子育て支援センター (運営業務受託：まちの研究所株式会社))

黒須 里恵 (渋谷ファクト代表 / 一般社団法人関東多胎ネット理事)

特別対談

第1会場 (広尾ホール)

16:10-17:40

「看取りの文化を地域共生社会の中で語り継ごう」

座 長：小野 若菜子 (東京都立大学 健康福祉学部 看護学科)

中村 茜 (株式会社ぐるんとびー 看護小規模多機能型居宅介護ぐるんとびー駒寄)

講 師：秋山 正子 (白十字訪問看護ステーション代表取締役所長)

鈴木 央 (鈴木内科医院 院長)

ランチョンセミナー 1

第2会場 (201講義室)

11:50-12:50

共 催：プライマリーアシスト株式会社

「介護と仕事の両立支援 ～介護する人される人の深層心理～」

座 長：石山 知良 (プライマリー・アシスト株式会社)

講 師：瀬野 容子 (一般社団法人日本ナースオーブ)

対 談

第2会場 (201講義室)

13:10-14:20

「障害や病いとともに生きる地域共生社会 ～幼少期からの友人同士の対話を通じて、障害とは何かを考える～」

座 長：小林 真朝 (聖路加国際大学大学院)

講 師：瀬戸山 陽子 (東京医科大学教育IRセンター)

神田 由佳 (LIC訪問看護リハビリステーション)

教育講演 1

第2会場 (201講義室)

14:40-15:40

「日本における保健師教育の始まり： 戦間期における国際社会と日本赤十字社の公衆衛生看護教育」

座 長：吉川 悦子 (日本赤十字看護大学 看護学部)

講 師：川原 由佳里 (日本赤十字看護大学)

ランチョンセミナー 2

第3会場 (301講義室)

11:50-12:50

共 催：パラマウントベッド株式会社

「医療・介護における睡眠データの活用」

座 長：秦 政彦 (パラマウントベッド株式会社 営業本部デジタルソリューション事業部医療デジタル事業課)

講 師：木暮 貴政 (パラマウントベッド株式会社 パラマウントベッド睡眠研究所)

研究力向上セミナー 1

第3会場 (301講義室)

13:10-14:10

「質的研究：現象学的研究の理論と実際」

座 長：幡野 亜希子 (順天堂大学医学部附属練馬病院)

講 師：細野 知子 (日本赤十字看護大学看護学部)

「量的研究：“やったこと”から“届いたこと”へー保健指導を“研究で語る”視点を学ぶ」

座 長：志村 水輝 (医療生協さいたま生活協同組合 ケアセンターとこしん)

講 師：佐藤 潤 (元厚生労働省 健康・生活衛生局健康課 保健指導専門官 / 東京科学大学大学院 保健衛生学研究科)

地域共生特別ワークショップ**「仲間とともに育む地域づくり
ー在宅看護専門看護師が捉えた地域共生社会実現への種まきー」**

座 長：國府 幹子 (地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立荏原病院)

伊藤 磨理 (在宅看護専門看護師)

講 師：寺嶋 香里 (NPO法人グレースケア機構 ひとまちこ訪問看護ステーション)

中村 茜 (株式会社ぐるんとびー)

今井 真喜 (公益社団法人川崎市看護協会 かわさき訪問看護ステーション)

理事会セミナー

第1会場 (広尾ホール)

9:20-10:30

「宮崎美砂子先生を偲んで：宮崎先生の主なご活動と思い出」

座 長：永田 智子 (副理事長)

話題提供

1. 地域看護学の再定義と教育内容・方法への取り組み

岸 恵美子 (東京医療保健大学東が丘看護学部 / 大学院看護学研究科)

佐藤 紀子 (千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科)

2. Covid-19への対策ならびに健康危機管理の取り組み

田村 須賀子 (富山大学)

春山 早苗 (自治医科大学)

3. 次世代研究活動推進と実践活動推進への取り組み

田高 悦子 (北海道大学大学院保健科学研究院地域看護学 / 公衆衛生看護学教室)

荒木田 美香子 (川崎市立看護大学)

教育講演 2

第1会場 (広尾ホール)

10:40-11:40

「地域高齢者の暮らしへの理解を深める教育の試み
ー教員が地域に“馴染む”ことでできたことー」

座 長：岸 恵美子 (東京医療保健大学 東が丘看護学部)

講 師：横井 郁子 (東邦大学 看護学部)

招待講演

第1会場 (広尾ホール)

12:00-13:00

「THE TOKYO TOILETの地域共生的考察：根源のおもてなし」

座 長：井口 理 (日本赤十字看護大学 地域看護学)

永田 智子 (慶應義塾大学)

講 師：柳井 康治 (株式会社ファーストリテイリング 取締役 グループ上席執行役員)

特別講演

第1会場 (広尾ホール)

13:10-14:20

「まずは雨あってこそ！一地域共生社会を支える雨に感謝」

座 長：臺 有桂 (神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部)

木村 愛 (前日本赤十字看護大学)

講 師：村瀬 誠 (株式会社天水研究所)

市民公開講座

第1会場 (広尾ホール)

14:30-15:40

「地域共生社会に向けてのエール ～今とこれからの自分の生き方～」

座 長：石田 千絵 (日本赤十字看護大学 看護学部)

寺嶋 香里 (ひとまちここ訪問看護ステーション)

講 師：宮崎 和加子 (一般社団法人だんだん会)

和田 行男 (株式会社・大起エンゼルヘルプ)

地域共生特別セミナー 1

第2会場 (201講義室)

9:20-10:20

「地域看護と地域共生社会のこれから」

座 長：川口 奏子 (一般社団法人 Ma soeur)

右田 宏美 (地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立がんセンター)

講 師：川添 高志 (ケアプロ株式会社)

地域共生特別セミナー 2

第2会場 (201講義室)

10:30-11:30

「ビュートゾルフ柏の取組からみた地域共生社会のこれから」

座 長：鈴木 良美 (東京医科大学 医学部看護学科)

今井 真喜 (公益社団法人川崎市看護協会 かわさき訪問看護ステーション)

講 師：吉江 悟 (一般社団法人Neighborhood Care)

ランチョンセミナー 3

第2会場 (201講義室)

12:00-13:00

共 催：大塚製薬株式会社

「地域在宅における看護師が行う健康栄養サポート」

講 師：朝倉 之基 (Nurse Innovation株式会社)

地域共生特別セミナー 3

第2会場 (201講義室)

13:10-14:10

「看護の価値の可視化と地域共生社会のこれから」

座 長：西田 志穂 (純真学園大学保健医療学部看護学科)

伊藤 磨理 (在宅看護専門看護師)

講 師：藤野 泰平 (株式会社デザインケア みんなのかかりつけ訪問看護ステーション)

パネルディスカッション

第3会場 (301講義室)

10:30-11:40

「目に見えない障害を持つ当事者と家族」

座 長：國府 幹子 (東京都立荏原病院 患者・地域サポートセンター)

大森 史佳 (那須赤十字病院 那須赤十字病院入退院支援センター)

講 師：谷口 美穂 (日本赤十字社医療センター 療養支援課 医療連携室)

伊藤 麻紀 (日本赤十字社医療センター 看護部)

拡大編集委員会

第3会場 (301講義室)

12:00-13:00

教育講演 3

第3会場 (301講義室)

13:10-14:10

「災害時の情報支援

---被災者の生活再建・健康維持に求められる重層的情報マネジメントとは」

座 長：山下 留理子 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 地元創成看護学分野)

講 師：宮川 祥子 (慶應義塾大学看護医療学部 / 一般社団法人情報支援レスキュー隊 (IT DART))

オンライン教育講演一覧

オンライン教育講演

1. 認知症と地域共生社会

山口 潔 (ふくろうクリニック等々力・自由が丘・目白台)

2. 「今までのALS観」から「新しいALS観」へ

鈴木 諭 (日本ALS協会栃木県支部)

3. 食えること 生きること ～地域食支援の実践～

五島 朋幸 (ふれあい歯科ごとう)

4. 東日本大震災直後から中長期支援に至る保健師活動 ～震災前からある陸前高田市のつながり～

佐々木 亮平 (岩手医科大学教養教育センター人間科学科体育学分野)

5. 自然災害に向けた保健師と訪問看護師の協働

永野 智子 (元熊本市保健師)

木村 浩美 (熊本県訪問看護ステーション連絡協議会代表)

6. 産科医療特別給付金生まれるまで 一保護者の声が制度を動かす

永島 祥子 (産科医療補償制度を考える親の会)

7. 地域で暮らす教科書を超えた重症児

障害を持つ子を育てている保護者20組

永島 祥子氏 (産科医療補償制度を考える親の会 代表)

8. 地域看護学及び関連科目におけるGIS活用の有用性

堀池 諒 (奈良県立医科大学医学部看護学科)

9. 精神保健医療福祉×地域共生×アウトリーチ：新時代のケアモデルを探る

増子 徳幸 (訪問看護ステーションWing)

10. 「共に生きる」をかたちにする ～訪問看護とまちづくりが交わる伊豆の国市から～

野中 美保子 (ラポールあい 訪問看護ステーション)

11. フットケアで実現する地域包括ケア ～足元から見つめる看護の未来～

西田 壽代 (足のナースクリニック / 日本トータルフットマネジメント協会)

12. まちづくりとコミュニティと地域通貨

武井 浩三 (非営利株式会社eumo)

ワークショップ一覧

9月6日(土)

第8会場 (203 講義室)

ワークショップ 1

10:50-12:00

地域診断を通じた「行政保健師」初学者の力量形成について考える

伊藤 美樹子¹⁾、田淵 紗也香²⁾

1) 滋賀医科大学

2) 京都光華女子大学

ワークショップ 2 健康危機支援委員会ワークショップ

13:10-14:20

復旧・復興の「その後」を見据えた被災地支援のあり方

～第2次現地調査を通じて見えてきた能登半島地震・豪雨の住まいと地域の分断と再生～

堀池 諒¹⁾、佐々木 亮平²⁾、奥田 博子³⁾、川口 奏子⁴⁾、吉川 悦子⁵⁾、石田 千絵⁵⁾

1) 奈良県立医科大学

2) 岩手医科大学

3) 国立保健医療科学院

4) 在宅看護研究センターLLP / 日本在宅看護システム有限会社

5) 日本赤十字看護大学

ワークショップ 3

14:40-15:50

“ないならつくる”が地域を変える ～地域共生社会を支える草の根の挑戦～

栗田 真由美^{1,5)}、荒牧 順子^{3,5)}、渡邊 映子⁴⁾、寺田 由紀子^{2,5)}

1) 静岡県立大学看護学部

2) 帝京大学助産学専攻科

3) 株式会社ドアーズ、一般社団法人SAGA

4) 風楽 (特定非営利活動法人)

5) DC NETWORK (ダブルケアラー支援団体)

ワークショップ 4 次世代育成委員会ワークショップ

16:00-17:10

次世代育成推進委員会主催 メタバース第3弾！

～膝を突き合わせて課題を持ち寄ってみませんか？～

石丸 美奈¹⁾、成瀬 昂²⁾、松井 理恵³⁾、阿部 宏史⁴⁾、佐藤 太一¹⁾、寺本 健太⁵⁾、板谷 智也⁶⁾、岡野 明美⁷⁾、堀池 諒⁸⁾、川崎 涼子⁹⁾、蔭山 正子^{2,10)}

1) 千葉大学大学院

2) SOMPOインスティテュート・プラス株式会社

3) 群馬大学大学院

4) 藍野大学

5) 晴海おとしより相談センター

6) 宮崎大学

7) 大阪公立大学

8) 大阪医科大学

9) 長崎大学

10) 大阪大学

ワークショップ5

9:20-10:30

保険薬局を拠点とした看護職の新たな取り組みと薬剤師との協働・連携のかたちを探る

杉本 幸子¹⁾、田本 信江²⁾、眞島 崇³⁾、大原 宏司⁴⁾、渡邊 まどか⁵⁾、鹿俣 律子¹⁾

- 1) 公立大学法人福島県立医科大学看護学部
- 2) 一般財団法人緑風会緑風会薬局
- 3) 大東文化大学スポーツ・健康科学部
- 4) 日本大学薬学部薬剤師教育センター
- 5) 公益社団法人福島県看護協会

ワークショップ6

10:50-12:00

今、看護師に必要な地域における看護の教育内容を考える！～3学会合同委員会案より～

佐藤 紀子¹⁾、岡本 玲子²⁾、石橋 みゆき³⁾、大宮 朋子⁴⁾、草野 恵美子⁵⁾、斉藤 恵美子⁶⁾、嶋津 多恵子⁷⁾、
諏訪部 高江⁸⁾、藤原 和美⁹⁾、持田 恵理¹⁰⁾

- 1) 千葉県立保健医療大学
- 2) 大阪大学大学院
- 3) 千葉大学大学院
- 4) 東北大学大学院
- 5) 大阪医科大学
- 6) 東京都立大学大学院
- 7) 国際医療福祉大学大学院
- 8) 訪問看護ステーションほのか
- 9) 関西国際大学
- 10) 元大泉町保健福祉総合センター

ワークショップ7

13:00-14:10

男性高齢者の社会参加の推進の取り組み

岡野 明美¹⁾、森永 朗子²⁾、古賀 佳代子³⁾、保母 恵⁴⁾、小林 奈緒子⁵⁾、曾我 智子⁶⁾、藤本 公恵⁷⁾

- 1) 大阪公立大学大学院看護学研究科
- 2) 久留米大学医学部看護学科
- 3) 福岡大学医学部看護学科
- 4) 松蔭大学看護学部
- 5) 新潟県上越市役所
- 6) 泉大津市社会福祉協議会 泉大津市地域包括支援センター
- 7) 精華町南部地域包括支援センター

常設特別企画一覧

アートでつながる部屋

第4会場 (202講義室)

30秒早く寝られる枕カバー

—看護×アートで「よく眠る」を考えるワークショップ—

9月6日(土) 11:00-17:00

9月7日(日) 9:20-14:20

IKEA効果をヒントに、自分で染めた枕なら早く寝られる？
愛着のある睡眠環境が眠りを変えるか？！
その仮説、タイダイ染めを通してご自身で検証していただきます。

つながりあう社会をイメージしてポストカードをつくろう！

9月6日(土) 11:00-17:00

9月7日(日) 9:20-14:20

好きな形や色を使ってポストカードを作る凸版画workshopです。
版画は印刷の原点。伝えること、寄り添うこと、つながること。それは看護の原点でもあります。「すべての人がつながりあう社会」をイメージして版画にしてみてくださいね。
今日の記念にするのもよし、大切な誰かへの贈り物にしてもよし。

【参加費】500円

【所要時間】10～20分

【受付】ブースへ直接お越しください。

NPO法人からだフシギ

9月6日(土) 11:00-17:00

9月7日(日) 9:20-14:20

子どもが体を学ぶための活動を行っています。コンセプトは、「体の知識を（医療者のものではなく）みんなのものに」。学会当日は、体の中を楽しく学べる「からだTシャツ」や8系統絵本「わたしのからだ」など、子どもが自分の体を学べる教材の展示や、活動の紹介を行います。

水引の基本 あわび結び

9月7日(日) 9:20-14:20

水引はご祝儀袋などに結ばれる日本の伝統的な装飾紐で、最近は水引アクセサリーが人気です。水引はあわび結びに始まり、あわび結びに終わると言われている程、あわび結びで作品の多くを作ることができます。基本のあわび結びの練習から初めて、簡単な根付をつくります。

「健康危機管理の保健師活動：アドバンスド版」(自然災害編) 上映**9月6日(土) 11:00-14:00**

全国保健師教育機関協議会健康危機管理対策委員会が2025年に作成した視聴覚教材「健康危機管理の保健師活動：アドバンスド版」(自然災害編)を上映します。災害時における保健師の具体的な対応を学べる貴重な機会です。保健師はもちろん、訪問看護師や入退院支援看護師の方々にもぜひご覧いただきたい内容です。

日本赤十字社の避難生活支援の取組み紹介**9月7日(日) 10:30-14:20**

令和6年能登半島地震における被災地での活動や、区市町村への避難所環境改善のための資機材配備 など、日赤の避難生活支援にかかる取組をご紹介します。また、一次避難所の運営者向けに開発中の研修プログラム「要配慮者トリアージ」の体験会を実施します。

遊んで学べる！災害BCPボードゲーム**9月7日(日) 10:30-14:20**

訪問看護の災害BCPをテーマにしたボードゲームが体験できます。災害直後から復旧までにステーションで起こる様々な問題への対応策をチームで考え、ポイントを獲得していきます。ゲームが終わるころには、リソースベースの災害BCPの考え方が自然に理解できているはず。一人でも複数人でも参加OK！ぜひプレイしに来てください。

暮らしを支えるケアの部屋 地域共生社会を足元から支える：フットケア体験**9月6日(土) 11:00-16:00 9月7日(日) 9:20-14:20**

看護師など専門のトレーニングを受けたフットケアスペシャリスト等による施術を体験し、地域看護に役立つ足元を支えるケアの実際や、看護師の新たなライフワークとしての魅力を知る場です。

一般演題(口演)一覧

9月6日(土)

第7会場(208講義室)

口演 第1群 高齢者保健・介護予防／地域づくり・ソーシャルキャピタル

10:50-12:00

座長：吉野 純子(東海大学 医学部看護学科)

O-1-1 地域在住のフレイルの高齢者における社会交流を伴う集団活動への参加と自己効力感の関連

林 尚子¹⁾、田中 美加²⁾

1) 日本医療科学大学保健医療学部 2) 北里大学看護学部

O-1-2 外来患者・地域住民を対象とした患者サロンの取り組み

坂本 陽子、藤原 加奈、小倉 美利香、大津 千穂

地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立十三市民病院

O-1-3 家族と通所リハビリテーション施設職員による利用者への支援の必要性 ～コミュニティでの生活継続を目指して～

星野 美千代、栃本 千鶴、藤原 加奈子、柿原 加代子

居宅支援事業所

O-1-4 地域包括支援センター保健師の地域づくりに関する専門能力評価尺度の信頼性の検討

優秀演題賞

田中 裕子¹⁾、横山 歩香¹⁾、亀野 淳²⁾、田高 悦子¹⁾

1) 北海道大学大学院保健科学研究院創成看護学分野 2) 北海道大学高等教育推進機構

O-1-5 首都圏に在住する定年退職後男性と地域とのつながりの実態とその特徴 ～機縁法による質問紙調査から

吉野 純子¹⁾、嶋津 多恵子²⁾、錦戸 典子¹⁾、綿貫 成明³⁾

1) 東海大学 2) 国際医療福祉大学大学院 3) 国立看護大学校

口演 第2群 健康づくり・ヘルスプロモーション、産業保健

13:00-14:00

座長：谷山 牧(国際医療福祉大学小田原保健医療学部)

O-2-1 ナッジの効果持続性に関する文献レビューー健康的な生活習慣をナッジできるかー

山崎 珠々、原 ゆかり

東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野

O-2-2 メンタルヘルス不調による休職を経て復職した部下をもつ管理監督者の経験と 産業看護職への期待ー小売業におけるインタビュー調査ー

坂田 佳代¹⁾、門間 晶子²⁾

1) 株式会社PPIH 2) 名古屋市立大学大学院 看護学研究科

O-2-3 Continuous Glucose Monitoringを用いた糖尿病予防教室のプログラムの有効性に関する検討

猪川 康恵、松尾 和枝

福岡女学院看護大学

**O-2-4 Patient and Public Involvement (PPI) の視点を活かした地域協働による
乳がん啓発イベント：みんなで創るピンクリボンフェスティバル**

谷山 牧^{1,2)}、前川 育²⁾、遠藤 奈由巳^{2,3)}、宇田川 路代^{2,4)}、小林 淳子^{1,2)}、渡辺 英子^{1,2)}、
鈴木 桂子^{2,5)}、種市 亜澄^{2,5)}、小川 泉⁶⁾、高坂 万耶子⁶⁾、黒柳 夏紀¹⁾、石村 珠美¹⁾

1) 国際医療福祉大学小田原保健医療学部 2) ピンクリボンぶらすODAWARA 3) NPO法人ぽっかぽか
4) 株) インスタイル 5) 小田原市立病院看護部 6) 小田原市福祉健康部

口演 第3群 障害児・者支援

14:20-15:30

座長：辻 京子 (四国大学看護学部)

**O-3-1 医療的ケアを必要とする子どもたちの災害支援体制 報告1
—障害のある子どもの防災対策に関する研究の動向と社会的背景の変遷—**

辻 京子¹⁾、海野 潔美²⁾、渡部 光恵¹⁾

1) 四国大学 2) 茨城キリスト教大学

**O-3-2 医療的ケアを必要とする子どもたちの災害支援体制 報告2
—医療的ケア児および重症心身障害児における防災対策の現状に関する文献検討—**

海野 潔美¹⁾、辻 京子²⁾、渡部 光恵²⁾

1) 茨城キリスト教大学 2) 四国大学

**O-3-3 医療的ケアを必要とする子どもたちの災害支援体制 報告3
—在宅の医療的ケア児への災害時の取り組みに関する文献検討—**

渡部 光恵¹⁾、辻 京子¹⁾、海野 潔美²⁾

1) 四国大学 2) 茨城キリスト教大学

**O-3-4 人工呼吸器装着ALS患者と家族の発症から現在までの心理的变化の差異に関する一考察
平野 優子¹⁾、秋山 美紀²⁾、大生 定義³⁾**

1) 慶應義塾大学看護医療学部 2) 武蔵野大学ウェルビーイング学部 3) 特定医療法人新生病院

**O-3-5 在宅で生活している学童期にある発達障害児とその家族を支援する医療機関の看護実践
安藤 恵、春山 早苗
自治医科大学看護学部**

口演 第4群 看護管理、看護教育、その他

15:50-16:50

座長：伊藤 美樹子 (滋賀医科大学 地域看護学講座)

**O-4-1 探究学習プロジェクトにおける高校生への防災啓発の実践
- 高校生自らが考える高校生に必要な災害に対する備えの提案 -**

市戸 優人¹⁾、鬼塚 美玲¹⁾、村中 幸一²⁾、佐々木 将仁³⁾、大黒 翔³⁾

1) 札幌市立大学看護学部 2) 北海道札幌月寒高等学校 3) 札幌市危機管理局

O-4-2 地域看護学の授業における校外活動の報告 ～地域の人々へのインタビュー～

鈴木 美緒、押領司 民

公益社団法人山梨勤労者医療者協会 共立高等看護学院

O-4-3 児童生徒の孤独および社会的孤立の要因に関する文献検討

笹木 ひとみ、緒方 靖恵、横山 美江

大阪公立大学大学院看護学研究科

**O-4-4 新任期看護師における夜間・オンコール従事の特徴：
病院・訪問看護ステーションとの比較から**

伊藤 美樹子¹⁾、笠原 聡子¹⁾、色摩 茉衣子¹⁾、橘 由香¹⁾、白片 匠¹⁾、田和 なつ美¹⁾、小沢 彩歌²⁾、
辻村 真由子¹⁾

1) 滋賀医科大学医学部看護学科 2) 滋賀県健康医療福祉部医療政策課

9月7日(日) 第7会場 (208講義室)

口演 第5群 子育て支援・虐待予防

9:30-10:40

座長：大西 竜太 (東北大学大学院教育学研究科)

**O-5-1 乳児の親の育児におけるヘルスリテラシーに着目した公衆衛生看護実践についての
質的研究 ―親子の生活の質向上を目指して―**

坂井 文乃、石丸 美奈

千葉大学大学院看護学研究院

O-5-2 父親に対する出産前教育の内容と効果に関する文献レビュー

山本 あかね、原 ゆかり

東北大学大学院医学系研究科保健学専攻公衆衛生看護学分野

O-5-3 子どもの育てにくさを感じている母親への乳児家庭全戸訪問事業における看護職の支援

森 久仁江、生駒 妙香、狩野 真理

関西医療大学

O-5-4 育児と介護のダブルケアラーに対する支援者の関わり

加藤 琳萌

横浜市民市民病院

**O-5-5 0-3歳児の親におけるオンライン・オフライン育児情報の利用傾向と主観的社会関係の質
―社会的支援の知覚と孤独感に着目した性差の検討―**

大西 竜太

東北大学大学院教育学研究科

口演 第6群 訪問看護・ケアマネジメント、在宅ケア・在宅移行支援

10:50-12:00

座長：城所 環 (日本赤十字社総合福祉センター)

O-6-1 訪問看護師のオンコール業務とバーンアウトとの関連

石井 春菜、小倉 能理子

日本赤十字東北看護大学

O-6-2 看護小規模多機能型居宅介護利用者の主介護者が捉えたそこから受けるケアの意味

室田 絢香¹⁾、松永 篤史²⁾、小野 久恵³⁾、佐々木 浩幸³⁾、橋本 舞子¹⁾、大森 純子⁴⁾

1) 東北大学医学部保健学科看護学専攻 2) 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野 3) 有限会社あおい

4) 聖路加国際大学大学院看護学研究科公衆衛生看護学

O-6-3 在宅療養を中止した過程における家族の体験

寺島 直美

星槎大学大学院博士後期課程

O-6-4 地域包括ケア病棟における効果的な退院支援 ～面会時に思いを引き出す関わりを持って～

井内 智美、若松 弥生

いわき湯本病院

O-6-5 統合失調症在宅療養者のリハビリを促進する訪問看護師の支援

松本 晃子¹⁾、田口 理恵²⁾、河原 智江²⁾、久保 善子²⁾

1) 元共立女子大学大学院看護学研究科修士課程 2) 共立女子大学大学院看護学研究科

口演 第7群 地域包括ケア・協働・連携

13:00-14:10

座長：横山 美江 (大阪公立大学)

**O-7-1 消化管ストーマ造設術を受けた患者が転院する過程で転院先の病棟看護師が抱く
困りごとに関する実態調査**

大峯 春佳、瀧 芳美、内田 舞、妹尾 七海、高谷 晴美

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

O-7-2 地域包括ケアシステムにおける診療所看護職の役割の検討 ～訪問看護師への調査から～

長谷川 さわ子¹⁾、本多 和子²⁾、山口 智美²⁾

1) 二子玉川あんしんすこやかセンター 2) 横浜創英大学大学院看護学研究科

O-7-3 運動を主目的とした通いの場の課題と活動継続要因 –リーダーの認識に焦点を当てて–

堀田 康彦

名古屋市立大学大学院 研究生

O-7-4 多世代交流における生活への影響 –子ども食堂をフィールドとして–

松澤 愛依子^{1,2)}、飯野 理恵³⁾

1) 千葉市役所 2) 千葉大学大学院看護学研究科 3) 千葉大学大学院看護学研究院

**O-7-5 多様な主体による地域づくりセミナー企画案の住民インタビューによる
内容妥当性・実用性の検討：誰もが認知症と共に生きる共生社会の実現を目指して**

佐藤 太一¹⁾、石丸 美奈²⁾、岩瀬 靖子³⁾、井口 紗織³⁾、牛尾 裕子⁴⁾、斎藤 美矢子⁴⁾、村上 祐里香⁴⁾、
鈴木 悟子⁵⁾、坂井 文乃²⁾、緒方 彩乃⁴⁾

1) 千葉大学国際高等研究基幹 2) 千葉大学大学院看護学研究院 3) 植草学園大学看護学部

4) 山口大学大学院医学系研究科 5) 富山大学学術研究部医学系

一般演題(示説)一覧

9月6日(土)

第9会場(207講義室)

示説 第1群

13:00-14:00

精神保健・看護／障害児・者支援

座長：蔭山 正子(大阪大学高等共創研究院)

P-1a-1 16歳から29歳の若者における自殺念慮の実態とその関連要因

石川 頌子¹⁾、有本 梓¹⁾、小西 潤²⁾、牧野 香織²⁾、福石 直美²⁾

1) 横浜市立大学 医学部看護学科 地域看護学領域 2) 横浜市健康福祉局こころの健康相談センター

P-1a-2 18歳以上30歳未満の若者における孤独感とウェルビーイングおよび抑うつへの影響：短期間コホート研究(YURAGI-J)

有本 梓、伊藤 絵梨子、赤塚 永貴、石川 頌子

横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野

P-1a-3 地域在住の人工呼吸器療養者が考える近隣住民との災害時互助関係づくり

川崎 涼子¹⁾、江頭 琴美²⁾、松尾 有紗³⁾、澁谷 日紀⁴⁾

1) 長崎大学生命医科学域保健学専攻 2) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻1年
3) 長崎県立大学大学院地域創生研究科 人間健康科学専攻1年 4) 社会医療法人埼玉巨樹の会 新久喜総合病院

P-1a-4 小規模市町村における発達障害の特性をもつ子どもと家族への早期支援の実態と関連要因－発達支援担当保健師と保育士の調査より－

西嶋 真理子¹⁾、柴 珠実¹⁾、仲野 由香利²⁾、増田 裕美³⁾、藤村 保志花⁴⁾、大野 美賀子⁵⁾、高橋 香織⁶⁾、矢野 美咲⁷⁾

1) 愛媛大学大学院 2) 聖カタリナ大学短期大学部 3) 聖カタリナ大学 4) 香川県立保健医療大学 5) 広島国際大学
6) アートチャイルドケア株式会社 7) 神戸市看護大学

P-1a-5 医療的ケア児・家族が利用しているサービス事業者と当事者のペアリング調査－当事者のQOL向上を意図した多職種の連携促進調査－

石川 志麻

慶應義塾大学看護医療学部

P-1a-6 精神疾患のある人の性的エンパワメントに関連する要因

蔭山 正子¹⁾、高橋 幸子²⁾、市橋 香代³⁾、日下 桃子⁴⁾、野間 慎太郎⁵⁾、余郷 壮平⁶⁾、村山 美保子⁷⁾、根本 俊史⁸⁾、横山 恵子⁹⁾

1) 大阪大学高等共創研究院 2) 埼玉医科大学 医療人育成支援センター・地域医学推進センター
3) 東京大学医学附属病院精神神経科 4) 湘南医療大学保健医療学部看護学科 5) オンラインフリースペース ハマッチャ
6) ピア学習プログラム「あいりき」コミュニティ 7) 横浜ピアスタッフ協会
8) 恋愛ピアサポートグループ「めんちゃれ」 9) 横浜創英大学看護学部

子育て支援・虐待予防

座長：森鍵 祐子（山形大学 大学院医学系研究科看護学専攻）

P-1b-1 AIを活用した母子保健事業での保健指導の利点と課題：保健師へのグループインタビュー

田中 美帆¹⁾、岡本 玲子¹⁾、小出 恵子¹⁾、福田 雅樹²⁾

1) 大阪大学大学院医学系研究科 2) 大阪大学社会技術共創研究センター

P-1b-2 共働き核家族において2人の子どもをもつ夫婦が行うCoparentingの実際

西井 聡美¹⁾、谷山 牧²⁾、寺田 美樹¹⁾

1) 東京医科大学 2) 国際医療福祉大

P-1b-3 自治体と協働した子育て支援に参加する母親の現状と看護教員に求める支援

内田 文月、菊池 さよ、福田 陽子、太田 純代、松中 枝里子、川崎 幹子、石山 さゆり、永松 美雪

日本赤十字九州国際看護大学

P-1b-4 こども食堂における幼児・学童期からの食育推進・生活習慣改善支援

田村 須賀子¹⁾、安田 貴恵子²⁾、酒井 久美子²⁾、相山 馨³⁾

1) 富山大学学術研究部医学系 2) 長野県看護大学看護学部 3) 富山国際大学子ども育成学部

P-1b-5 乳幼児の応急手当講習に対する認可外保育所の現状とニーズ

藤田 千春¹⁾、重泉 果穂²⁾

1) 杏林大学保健学部看護学科看護養護教育学専攻 2) 杏林大学医学部附属病院

P-1b-6 乳児の母親が思う相談場面のよかったことと相談しにくいこと

森鍵 祐子、赤間 由美

山形大学大学院医学系研究科看護学専攻

示説 第2群

14:00-15:00

看護管理・人材育成・キャリア支援／事業・施策のマネジメント

座長：細谷 紀子（千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科）

P-2a-1 A県内の新任期保健師が1年目に経験した個別支援とそれに対する困難と対処の実態

藤井 紀子¹⁾、牛尾 裕子²⁾

1) 山口大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程 2) 山口大学大学院医学系研究科保健学専攻

P-2a-2 自治体の新任期保健師人材育成ガイドラインの活用・作成状況と人材育成体制の関連

茂木 りほ¹⁾、平野 美千代²⁾、阿部 弥喜²⁾、蔭山 正子³⁾、吹田 晋⁴⁾、鈴木 しげみ⁵⁾、浅倉 久子⁶⁾

1) 国際医療福祉大学大学院 2) 札幌医科大学 3) 大阪大学高等共創研究院 4) 国立保健医療科学院
5) 埼玉県熊谷保健所 6) 大和市健康・スポーツ部健康づくり推進課

P-2a-3 行政保健師のデジタルヘルス・コンピテンシー尺度の開発

赤塚 永貴¹⁾、田口 敦子²⁾、宮川 祥子²⁾、杉山 大典²⁾

1) 横浜市立大学医学部看護学科 2) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科

P-2a-4 市町村中堅期保健師の職業的アイデンティティ確立の現状と課題

宮島 美希、金森 弓枝、大河内 彩子

熊本大学大学院保健学教育部

P-2a-5 市町保健師の施策化能力形成に関連する要因

渡部 瑞穂¹⁾、荒木田 美香子²⁾

1) 国際医療福祉大学小田原保健医療学部 2) 川崎市立看護大学

P-2a-6 ICTシステムを活用した人材育成・マネジメントを推進するためのガイドの開発

優秀演題賞

細谷 紀子¹⁾、吉岡 京子²⁾、塩見 美抄³⁾、松本 博成²⁾、本田 千可子²⁾、三浦 貴大⁴⁾、藤井 仁⁵⁾、佐藤 美樹⁶⁾、茂木 りほ⁷⁾、平和也^{3,8)}、角川 由香²⁾

1) 千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科 2) 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻
3) 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 4) 産業技術総合研究所 人間社会拡張研究部門 5) 目白大学看護学部
6) 川崎市立看護大学 看護学部 7) 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻
8) 大阪大学量子情報・量子生命研究センター

地域包括ケア・協働・連携

座長：聲高 英代 (大阪歯科大学看護学部)

P-2b-1 「行政保健師の行う連携」についての概念分析

横内 瑠里子¹⁾、井口 理²⁾、吉川 悦子²⁾、石田 千絵²⁾

1) 日本赤十字看護大学大学院修士課程 2) 日本赤十字看護大学大学院

P-2b-2 脊髄損傷患者の多発褥瘡に対し、多職種で連携し取り組んだ1事例を通して

鈴木 晶子、渡部 絢子、奥山 慎一郎、蜂谷 博子、鈴木 幸子、佐藤 明

訪問診療クリニックやまがた

P-2b-3 若年性認知症の人々と社会とのつながりの意義：ナラティブレビュー

黒柳 夏紀、谷山 牧

国際医療福祉大学

P-2b-4 認知症共生社会に向けた地域住民とともに実施する地域診断ツールの検討 ～看護学生を対象としたフォトボイスマップの試み～

伊藤 絵梨子¹⁾、赤塚 永貴¹⁾、後藤 直子¹⁾、有本 梓¹⁾、田高 悦子²⁾

1) 横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野 2) 北海道大学大学院保健科学研究院創成看護学分野

P-2b-5 通院化学療法下の進行がん患者のセルフマネジメントに関する文献レビュー

福元 恵美、有本 梓、伊藤 絵梨子、赤塚 永貴

横浜市立大学大学院 医学研究科 地域看護学分野

P-2b-6 地域住民を対象とした支援活動における医療・介護関係事業者と住民組織の地域連携の実態

聲高 英代、合田 加代子

大阪歯科大学

在宅ケア・在宅移行支援／訪問看護・ケアマネジメント

座長：藤田 淳子 (国立看護大学校)

P-3a-1 在宅ケアにおける感染対策の患者・家族指導の実態と市民向け冊子の評価

小山 歌子、継田 雅美、磯邊 浩和
新潟薬科大学

P-3a-2 ダブルケアを含む多重介護に関する国内研究のレビュー

菊池 真弓¹⁾、平野 和美²⁾、柳澤 佳恵²⁾
1) 佐久大学看護学部 2) 帝京平成大学健康医療スポーツ学部看護学科

P-3a-3 神経難病患者を受け入れる訪問看護事業所の特徴

－「訪問看護及び療養通所介護における医療と介護の一体的なサービス提供についての調査研究事業」データの二次分析から－

河田 美那子¹⁾、藤田 淳子¹⁾、辻村 真由子²⁾
1) 国立看護大学校 2) 滋賀医科大学

P-3a-4 在宅におけるセルフモニタリング記録の実際：在宅療養者と介護者の比較

水井 翠、山本 なつ紀、永田 智子
慶應義塾大学看護医療学部

P-3a-5 訪問介護との連携が必要な訪問看護サービスを利用する一人暮らし高齢者の特徴

－「訪問看護及び療養通所介護における医療と介護の一体的なサービス提供についての調査研究事業」データの二次分析－

辻村 真由子¹⁾、藤田 淳子²⁾、河田 美那子²⁾
1) 滋賀医科大学 2) 国立看護大学校

P-3a-6 訪問看護事業所におけるリハビリテーションの実施状況と利用者の特徴

－「訪問看護及び療養通所介護における医療と介護の一体的なサービス提供についての調査研究事業」データの二次分析－

藤田 淳子¹⁾、辻村 真由子²⁾、河田 美那子¹⁾
1) 国立看護大学校 2) 滋賀医科大学

産業保健・職域保健／健康づくり・ヘルスプロモーション

座長：小澤 若菜 (高知県立大学看護学部)

P-3b-1 野宿生活の長期化に影響を与える野宿生活者の経験

－A氏にとっての「住居」の意味に注目して－

白井 裕子
愛知医科大学看護学部

P-3b-2 保健指導者が捉える若年・男性の保健指導における特徴

30歳代男性の生活習慣病予防のための学習教材の精錬

鈴木 悟子
富山大学

- P-3b-3** 製造業で技術系総合職に従事する40代労働者の主観的健康感の変容プロセスと影響要因—複線径路等至性アプローチ (Trajectory Equifinality Approach: TEA) による分析—
大橋 知佐^{1,2)}、尾崎 伊都子¹⁾、門間 晶子¹⁾
1) 名古屋市立大学大学院看護学研究科 2) トヨタ自動車株式会社
- P-3b-4** 高齢労働者に対する保健師の支援内容と課題
石川 真子¹⁾、大河内 彩子¹⁾、島本 さと子²⁾、錦戸 典子²⁾
1) 熊本大学大学院生命科学研究部 環境社会医学部門 看護学分野 2) 東海大学医学部看護学科
- P-3b-5** 被災経験のある中小企業に勤める就労者の防災対策の現状と課題
古賀 佳代子¹⁾、池田 智²⁾
1) 福岡大学医学部看護学科 2) 第一薬科大学看護学部看護学科
- P-3b-6** 産業保健総合支援センターを利用する衛生管理者が捉える活動の課題と支援ニーズ
小澤 若菜¹⁾、豊田 あさみ²⁾
1) 高知県立大学看護学部 2) 高知産業保健総合支援センター

9月7日 第9会場 (207講義室)

示説 第4群

10:00-11:00

地域づくり・ソーシャルキャピタル

座長：岩瀬 靖子 (植草学園大学看護学部)

- P-4a-1** 超高齢地域における看護学生と住民の協働 まちおこしイベントを通じた実践による学び
川口 桂嗣、池原 知美、伊東 由康、佐々木 綾子、鈴木 隆史、高城 絵美、新田 紀枝
敦賀市立看護大学
- P-4a-2** 生活支援コーディネーターと通いの場の関連性：公的統計データを活用した地域相関研究
真辺 智規^{1,2)}、藤田 幸司¹⁾、植田 拓也¹⁾、倉岡 正高¹⁾、谷出 敦子¹⁾、中本 五鈴¹⁾、小宮山 恵美¹⁾、
柄澤 紀花^{1,3)}、有田 久仁子¹⁾、大曾根 由実¹⁾、根本 裕太^{1,3,4)}、藤原 佳典¹⁾
1) 東京都健康長寿医療センター研究所 2) 慶應義塾大学 3) 神奈川県立保健福祉大学
4) The University of Queensland
- P-4a-3** 地域包括支援センター看護職が認知症高齢者の地域生活の基盤をつくるプロセス—地域の協力者や社会資源につなぐまでに焦点をあてて—
三上 真由^{1,2)}、滝澤 寛子³⁾、河田 志帆³⁾
1) 京都市役所 2) 元京都看護大学大学院看護学研究科 3) 京都看護大学大学院看護学研究科
- P-4a-4** 富士山噴火時の降灰に対する市町村保健師の意識と現状
伊藤 美星¹⁾、石川 麻衣²⁾、松井 理恵²⁾、堀田 かおり²⁾、佐藤 由美²⁾
1) 山梨市役所 こども・子育て課 2) 群馬大学大学院保健学研究科
- P-4a-5** 在宅療養高齢者を介護する家族の介護肯定感に関する日中比較研究
張 平平、清水 暢子、劉 宇
富山県立大学

P-4a-6 多様な参画者の協働による地域づくりを促す研修教材としての活動事例集の作成

優秀演題賞

一誰もが認知症と共に生きる共生社会の実現に向けて一

岩瀬 靖子¹⁾、井口 紗織¹⁾、石丸 美奈²⁾、鈴木 悟子³⁾、佐藤 太一⁴⁾、牛尾 裕子⁵⁾、斎藤 美矢子⁵⁾、村上 祐里香⁵⁾、坂井 文乃²⁾、緒方 彩乃⁵⁾

1) 植草学園大学看護学部 2) 千葉大学大学院看護学研究院 3) 富山大学学術研究部医学系
4) 千葉大学国際高等研究基幹 5) 山口大学大学院医学系研究科

子育て支援・虐待予防／思春期保健・学校保健

座長：廣金 和枝（兵庫医科大学 看護学部）

P-4b-1 在日外国人が日本の子育て支援サービスを受け入れ活用する体験

小瀧 りな¹⁾、佐藤 由美²⁾、石川 麻衣²⁾、松井 理恵²⁾、堀田 かおり²⁾

1) 前群馬大学大学院保健学研究科保健学専攻博士前期課程 2) 群馬大学大学院保健学研究科

P-4b-2 日本の自然災害時の小児のメンタルヘルスに関する文献研究

守屋 麻寛、齊藤 南奈、鹿倉 彩那、藤井 千夏、山田 百果、愛川 由美子、安田 真奈美
東京科学大学病院

P-4b-3 地域の高校におけるがん教育の実態報告

舩井 佐奈枝

坂井市立三国病院

P-4b-4 進行がん患者の親をもつ未成年の子どもにおける健康関連QOLと関連要因に関する文献レビュー

藤原 歌子、有本 梓、伊藤 絵梨子、赤塚 永貴

横浜国立大学大学院医学研究科 地域看護学分野

P-4b-5 母子保健に関わる行政保健師における経験年数別にみた家庭訪問能力の実態と関連要因

林田 悠花¹⁾、谷川 愛優花²⁾、赤塚 永貴²⁾、伊藤 絵梨子²⁾、有本 梓²⁾

1) 大田区健康政策部蒲田地域健康課 2) 横浜国立大学大学院医学研究科地域看護学分野

**P-4b-6 保健師基礎教育課程における実習形態に応じた学校保健実習プログラムの開発
～特別支援学校を場とした事前1日、現地3日、事後1日の実習モデルプログラムの検証～**

廣金 和枝¹⁾、岡本 玲子²⁾、三森 寧子³⁾、高田 恵美子⁴⁾

1) 兵庫医科大学看護学部 2) 大阪大学医学系研究科 3) 千葉大学教育学部 4) 畿央大学教育学部

示説 第5群

11:00-11:50

看護教育／事業・施策のマネジメント

座長：牧 千亜紀（東京医療保健大学 立川看護学部）

P-5a-1 民間活力を活かした保健活動の現状と課題 一行政保健師と民間事業者の実態調査から一

成 玉恵¹⁾、岸 恵美子²⁾

1) 千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科 2) 東京医療保健大学東が丘看護学部看護学科

P-5a-2 保健師のデータ活用に関する現状と課題

澤村 歩美¹⁾、安孫子 尚子²⁾

1) 聖泉大学 2) びわこリハビリテーション専門職大学

**P-5a-3 地域医療を“体験”することで未来の看護師像を描く取り組み
—志摩市民病院における体験学習の実践報告—**

伊藤 喜代子、山下 幸世、清水 敦、江角 悠太
国民健康保険志摩市民病院

P-5a-4 地域包括ケアを意識した看護学統合実習における学生の学び

木村 愛^{1,2)}、藤川 あや³⁾、永井 健太³⁾、角田 紘子³⁾
1) 日本赤十字看護大学研究科博士後期課程 2) 前日本赤十字看護大学さいたま看護学部
3) 日本赤十字看護大学さいたま看護学部

P-5a-5 科目間連携による発展型データベース・シミュレーション教育の実践報告

牧 千亜紀、皆田 良子、村田 加奈子
東京医療保健大学

高齢者保健・介護予防

座長：長澤 ゆかり（国際医療福祉大学 成田看護学部看護学科）

P-5b-1 後期高齢者が独居で暮らし続けることを可能にする住民同士のケアリング

高橋 真紀子¹⁾、川本 美香²⁾、時長 美希
1) 高知学園短期大学 2) 香川大学

P-5b-2 社会的孤立の状態にある高齢者の理解と孤立した生き方を尊重した支援の検討

優秀演題賞

海原 律子¹⁾、上野 昌江²⁾、倉石 哲也³⁾、大川 聡子¹⁾
1) 関西医科大学看護学部 2) 四天王寺大学看護学研究科 3) 武庫川女子大学臨床教育学研究科

**P-5b-3 シニア向けオンライン運動教室から発展した新たな地域活動2例の報告
—SOFTプロジェクト—**

大西 真衣、野田 隆行、高橋 淳太、川上 諒子、兵頭 和樹、山口 大輔、西田 純世、甲斐 裕子、
荒尾 孝
公益財団法人明治安田厚生事業団体力医学研究所

P-5b-4 「通いの場」における住民リーダーの特性に関する文献検討

佐々木 裕美
日本赤十字東北看護大学

**P-5b-5 介護保険制度等の認知に関する全国サンプリングWEB調査結果分析
—成人群および高齢群による比較—**

長澤 ゆかり
国際医療福祉大学

子育て支援・虐待予防

座長：高木 悦子 (帝京科学大学 医療科学部看護学科 地域看護学)

P-6a-1 精神疾患を有する母親への育児支援に向けた保健師における多職種連携能力の実態と
関連要因

優秀演題賞

谷川 愛優花¹⁾、林田 悠花²⁾、有本 梓¹⁾、赤塚 永貴¹⁾、伊藤 絵梨子¹⁾

1) 横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野 2) 大田区健康政策部蒲田地域健康課

P-6a-2 支援希求の低い特定妊婦と家族にかかわる保健師の実践の特徴 (第1報)
—継続的な支援を目指した初回面談からの対応—

園部 律子、叶多 博美

茨城キリスト教大学

P-6a-3 支援希求の低い特定妊婦と家族にかかわる保健師の実践の特徴 (第2報)
児童虐待防止ショートステイ利用に関する合意形成

叶多 博美、園部 律子

茨城キリスト教大学看護学部

P-6a-4 妊娠期からの夫婦に対する夫婦関係を深めることを目指した支援プログラムに関する
文献検討

本田 順子¹⁾、保木 みか²⁾

1) 東邦大学看護学部 2) 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科

P-6a-5 地域の子育て支援職および子育て家庭が抱く特別養子縁組家庭に対する認識

齋藤 尚子^{1,2)}

1) 東京都健康長寿医療センター研究所 2) 岡山大学大学院保健学研究科博士後期課程

P-6a-6 未就学児育児中男女のストレスコーピングに関連する要因の探索的調査

高木 悦子

帝京科学大学

看護管理・人材育成・キャリア支援

座長：鳩野 洋子 (熊本保健科学大学)

P-6b-1 行政保健師の職業的アイデンティティに関連する要因

橋本 直奈¹⁾、神崎 由紀²⁾

1) 山梨大学 医工農学総合教育部 ヒューマンヘルスケア学専攻 2) 山梨大学 大学院総合研究部医学域看護学系 教授

P-6b-2 保健所保健師の役割・活動の内容と継承に関する研究 (第1報)
—熟練の保健所保健師が大切にしてきた役割・活動とその契機となった経験

齋藤 智子¹⁾、室岡 真樹²⁾、伊豆 麻子³⁾、坪川 トモ子³⁾

1) 新潟薬科大学看護学部 2) 新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部 3) 新潟青陵大学看護学部

P-6b-3 保健所保健師の役割意識の内容と継承に関する研究 (第2報)
—熟練の保健所保健師が継承したい保健所保健師としての役割・活動とその方法—

伊豆 麻子¹⁾、齋藤 智子²⁾、室岡 真樹³⁾、坪川 トモ子¹⁾

1) 新潟青陵大学看護学部 2) 新潟薬科大学看護学部 3) 新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部

- P-6b-4 保健所保健師の役割・活動の内容と継承に関する研究(第3報)**
—熟練保健師が考える保健所保健師の役割・活動を継承するうえでの課題—
室岡 真樹¹⁾、伊豆 麻子²⁾、齋藤 智子³⁾、坪川 トモ子²⁾
1) 新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部 2) 新潟青陵大学看護学部 3) 新潟薬科大学看護学部
- P-6b-5 新任期保健師の対人支援におけるケイパビリティの分析**
植村 直子¹⁾、井口 紗織²⁾、石川 麻衣³⁾
1) 東邦大学健康科学部 2) 植草学園大学看護学部 3) 群馬大学大学院保健学研究科看護学講座
- P-6b-6 保健所統括保健師の役割指標の妥当性と実施状況**
鳩野 洋子¹⁾、鈴木 浩子²⁾、嶋津 多恵子³⁾
1) 九州大学大学院 2) 昭和大学 3) 国際医療福祉大学大学院

日本地域看護学会 第28回学術集会 協賛一覧 (五十音順・敬称略)

■ 共催セミナー

大塚製薬株式会社
プライマリー・アシスト株式会社

パラマウントベッド株式会社

■ 展 示

セッツカートン株式会社
中央法規出版株式会社
株式会社VIPグローバル
株式会社ユピア

せんねん灸発売元セネファ株式会社
東洋羽毛首都圏販売株式会社
第一三共ヘルスケア株式会社

■ プログラム・講演集広告

株式会社医学書院
株式会社照林社
中央法規出版株式会社
プライマリー・アシスト株式会社
株式会社メディカ出版
株式会社ワールドプランニング

医歯薬出版株式会社
セッツカートン株式会社
ふくろうクリニック等々力・自由が丘・目白台
株式会社メヂカルフレンド社
ユサコ株式会社

■ バナー広告

ふくろうクリニック等々力・自由が丘・目白台
プライマリー・アシスト株式会社

Footage訪問看護ステーション

■ 寄 付

株式会社インターメディカル
訪問看護ステーションArica

ふくろうクリニック等々力・自由が丘・目白台

■ 後 援

渋谷区
一般社団法人 全国訪問看護事業協会
公益社団法人 東京都看護協会

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
公益社団法人 日本看護協会
文部科学省

■ 協 力

株式会社ツムラ

■ 助 成

公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団

(2025年8月22日現在)

学術集会の開催にあたり、皆様から多大なるご支援を賜りました。
謹んで御礼申し上げます。

日本地域看護学会第28回学術集会
学術集会長 石田 千絵

日本地域看護学会 第28回学術集会 委員一覧

■ 学術集会長

石田 千絵 (日本赤十字看護大学 看護学部)

■ 事務局長

佐藤 太地 (日本赤十字看護大学 看護学部)

■ 企画委員 (五十音順)

井口 理 (日本赤十字看護大学 看護学部)
神田 由佳 (LIC訪問看護リハビリステーション)
鈴木 諭 (日本ALS協会栃木県支部)
瀬戸山陽子 (東京医科大学 教育IRセンター)
西田 志穂 (純真学園大学保健医療学部看護学科)
宮崎 紀枝 (長野県立大学 グローバルマネジメント学部)
吉川 悦子 (日本赤十字看護大学 看護学部)

■ 実行委員 (五十音順・所属名は略称)

相田 実穂 (ブライトフット柏店)	志村 水輝 (医療生協さいたま/とこしん)
五十嵐草模 (東京武蔵野病院)	寺嶋 香里 (ひとまちこ訪問看護ステーション)
石川ひとみ (日本赤十字看護大学大学院)	永野 ゆり (武蔵野赤十字病院)
石田 陽基 (ななつばし訪問看護ステーション)	中村 茜 (ぐるんとびー)
伊藤 磨理 (元ラピオナースステーション)	西坂 尚子 (FLAT STAND)
今井 真喜 (かわさき訪問看護ステーション)	西田 壽代 (足のナースクリニック)
大久保いく味 (日本赤十字看護大学大学院)	ハーマントリー 美奈 (Agilefootcare)
太田 英里 (武蔵野赤十字病院)	幡野亜希子 (順天堂大学練馬病院)
大森 史佳 (那須赤十字病院)	平田有輝恵 (HiPRESS (版画アトリエ))
小田原 恵 (toco365)	藤川 あや (日本赤十字看護大学さいたま看護学部)
糟谷 明範 (シンクハピネス)	右田 貴子 (巻爪レスキューつくば)
木村 愛 (前日本赤十字看護大学)	横内瑠里子 (日本赤十字看護大学大学院)
國府 幹子 (東京都立荏原病院)	吉川 直美 (NeWtral Foot)
齋藤 透 (日本赤十字看護大学大学院)	吉田 まゆ (大森赤十字病院)
坂井 理恵 (佐久総合病院)	

■ 実行委員 (特別企画担当)

糸井 和佳	山口 雄己	坂本 邦子	洲 菜摘美	三澤 桂子
高木 悦子	本多 貴久	鷹岡真理子	山羽 美穂	葛西 友恵
古俣 理子	高橋 郁弥	新井 晴美	小池加代子	宮本 幸
中山 久子	森山 紀子	正躰 裕子	中山 真子	黒木 佳菜
原山 千咲	生形 聡	北沢 朋子	尾崎 佳代	相ヶ瀬玲子
吉田 悠	中村 玲雄	高梨 志保	斉藤 千絵	崎本真貴子
青木 明河	横山奈美恵	簾尾 裕里	三ツ谷見智子	滝澤 祐子
岩淵 央河	廣瀬 恭子	山田 聡子	大野 直美	石川 喬也
野中 陽斗	高田 恵美	河西真理子	北村 眞理	三木めぐみ

日本地域看護学会 第28回学術集会 ポケットプログラム

2025年8月発行

発 行 日本地域看護学会 第28回学術集会事務局
学術集会長 石田 千絵

事 務 局 日本赤十字看護大学看護学部地域看護学
〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3 (広尾キャンパス)

運営事務局 〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9階
株式会社プロコムインターナショナル内
TEL : 03-5520-8821 FAX : 03-5520-8820
Email : jachn28@procom-i.jp

MENU

9月6日(土)



9月7日(土)



アジアを中心とした世界の料理を暖かいお弁当にしてお届けします。
お腹だけではなく心も満たしたい。
心(ココロ)にプラス(足す)でココロータスです。

理論と実践の融合をめざす！ 公衆衛生看護学テキストシリーズ(全4巻)

1 公衆衛生看護学原論 第2版

責任編集 麻原きよみ 定価 3,080円(本体 2,800円+税10%)
B5判 176頁 ISBN978-4-263-23804-2

2 公衆衛生看護の方法と技術 第2版

責任編集 佐伯和子 定価 4,400円(本体 4,000円+税10%)
B5判 292頁 ISBN978-4-263-23805-9

3 公衆衛生看護活動Ⅰ 第2版

責任編集 岡本玲子 定価 3,850円(本体 3,500円+税10%)
B5判 248頁 ISBN978-4-263-23806-6

4 公衆衛生看護活動Ⅱ 2025年版
学校保健・産業保健

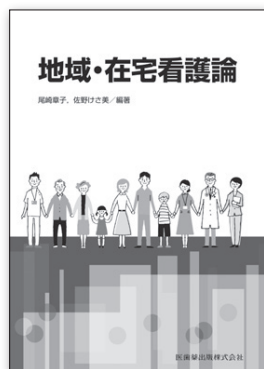
責任編集 荒木田美香子 定価 4,400円(本体 4,000円+税10%)
B5判 328頁 ISBN978-4-263-71075-3



地域・在宅看護論

尾崎章子・佐野けさ美・
苛原志保・西崎未和・
其田貴美枝 編著
B5判 352頁
定価 3,740円
(本体 3,400円+税10%)
ISBN978-4-263-23757-1

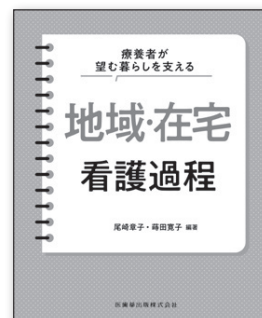
『新版 在宅看護論』が、新カリキュラムに対応して改訂・改題！在宅看護のコアと地域包括ケア時代への対応力が身につくテキスト。



療養者が望む暮らしを支える
地域・在宅看護過程

尾崎章子・
時田寛子 編著
AB判 128頁
定価 2,750円
(本体 2,500円+税10%)
ISBN978-4-263-23775-5

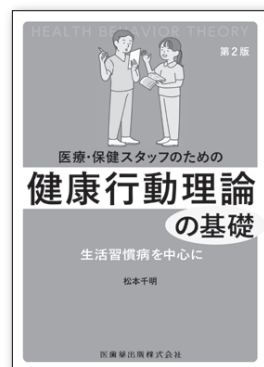
地域・在宅看護ならではの視点を統合した、本書独自のアセスメント枠組みで看護過程を展開。演習・実習に活用できるテキスト！



医療・保健スタッフのための
健康行動理論の基礎 第2版
—生活習慣病を中心に—

松本千明 著
B5判 112頁
定価 2,090円
(本体 1,900円+税10%)
ISBN978-4-263-71068-5

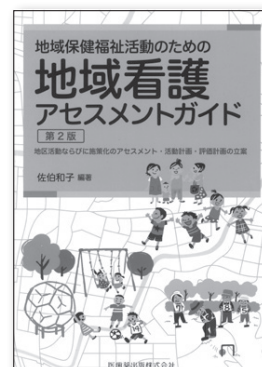
医療・保健分野の行動変容を理論に基づき解説する好評書の改訂版。ランダム化比較試験を中心とした最新のエビデンスに一新。



地域保健福祉活動のための
地域看護アセスメントガイド 第2版
—地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案—

佐伯和子 編著
A4判 132頁
定価 2,860円
(本体 2,600円+税10%)
ISBN978-4-263-23710-6

地域の健康課題について、収集したデータを分析し推論を導く方法を事例とともに紹介。根拠ある保健福祉事業計画の立案につながるテキスト。



訪問看護困難事例解決ガイド

教えて先輩! 対話からわかるアセスメントと対応のポイント

●河野あゆみ＝編著 ●定価2,640円(税込) B5判・194頁 2025年9月発行 ISBN978-4-8243-0301-1

利用者が複数の健康課題等をもつため支援困難に陥りやすい訪問看護現場。本書では、訪問看護師が出会いがちな困難事例を20ケース取り上げ、かかわる際に必要となるアセスメントや対応方法などについて、先輩看護師等との対話形式で優しく解説。即実践に役立つ視点が満載。

第1章 総論 困難事例解決ガイド：先輩看護師との対話のコツ

第2章 各論 対話からわかる困難事例への意思決定支援

- 1 一人暮らしの認知症高齢者 × BPSD の進行～施設入所への家族のジレンマへの寄り添い
- 2 身寄りのない高齢者 × ケアハウス入居～パチンコで散財する生活保護受給者への支援

第3章 各論 対話からわかる困難事例への健康課題支援

- 1 知的障害のある糖尿病療養者 × 血糖コントロール～天涯孤独な状況での自己管理方法の工夫
- 2 超高齢者 × 食欲の低下と衰弱～老衰の穏やかな看取り

第4章 各論 対話からわかる困難事例への家族支援

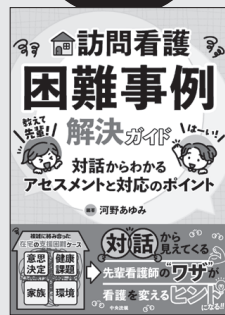
- 1 医療的ケア児と母親 × 療育の抱え込み～レスパイトケアの提供
- 2 終末期がん児ときょうだい児 × 退行現象～きょうだい児の承認欲求と疎外感の理解と軽減

第5章 各論 対話からわかる困難事例への環境支援

- 1 重症心身障害児 × 就学準備～行政、学校との連携体制づくり
- 2 双極性障害の療養者 × ごみ屋敷～セルフ・ネグレクトの段階的な解決

など

20の
支援困難
事例への
対応がわかる!



はじめての
精神科
訪問看護

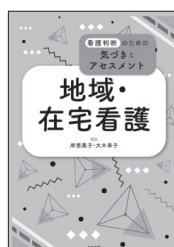
ISBN978-4-8243-0300-4

はじめての
精神科訪問看護
おさえておきたい実務のポイント

●吉川隆博、原子英樹、岩崎寛人＝編著
●定価2,640円(税込) A5判・234頁 2025年9月発行

精神科訪問看護にはじめて携わる看護師等に向けて、基礎知識から自宅訪問時のマナー、サービスを提供するうえで覚えておきたい視点などを解説。

新刊



ISBN978-4-8058-8433-1

看護判断のための気づきとアセスメント

地域・在宅看護

●岸 恵美子、大木幸子＝編集
●定価3,300円(税込) B5判・330頁 2022年2月発行

エビデンスに基づいた看護計画につなげるための「アセスメント力(臨床判断)」を高めるシリーズ。対象者理解の中心となる健康・生活・環境のアセスメントについて解説。



ISBN978-4-8243-0286-1

子どもの語りからわかる
精神疾患のある親をもつ
子どもの支援

●田野中恭子＝著
●定価2,750円(税込) A5判・224頁 2025年6月発行

「親の精神疾患とともに生きる子ども」に焦点を当て、これまで語られなかった彼らの困難や支援方法を具体的に解説。「子どもの語り」から実態を明らかにする。

新刊



ISBN978-4-8243-0254-0

在宅・介護施設における
対策実践ガイド
じょくそう ケアナビ

●日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会＝編集
●定価3,300円(税込) B5判・450頁 2025年6月発行

在宅で褥瘡(じょくそう)を予防し、治療するための考え方やノウハウを紹介。基礎知識、アセスメント、治療法、リハ、栄養等、広くわかりやすく解説した。医師、看護師、薬剤師、リハ職、管理栄養士、ケアマネジャー、介護職等の多職種が学べ、チームケアの実践に役立つ一冊。

新刊



ISBN978-4-8058-8936-7

Q&Aでわかる
訪問看護ステーションの
起業・経営・管理

確かなスタートと着実なマネジメントで成果を出そう

●公益財団法人日本訪問看護財団＝編集／
平原優美、藤野泰平、柳澤優子、加藤 希＝著
●定価3,300円(税込) A5判・316頁 2023年9月発行

訪問看護事業所の着実な起業・経営のための視点をわかりやすく伝授。さまざまな悩みについてQA形式で具体的に解説した。

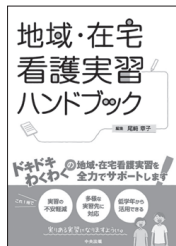


ISBN978-4-8243-0126-0

現場ですぐに役立つ
看護師のための
心理的安全性入門

●大村美樹子＝著
●定価2,640円(税込) A5判・128頁 2024年10月発行

チームが機能し、働きやすさが高まる「心理的安全性」の考えかたや実践方法について、看護職向けにわかりやすく解説する入門書。コミュニケーションスキル、職場マネジメント、セルフケアにも言及した。



ISBN978-4-8058-8389-1

地域・在宅看護実習
ハンドブック

●尾崎章子＝編集
●定価2,200円(税込) B5判・186頁 2021年12月発行

地域・在宅看護実習のテキスト。実習先となる多様な場での看護を紹介し、実習で活用できるマナーや心構え、実習で学んでほしいポイントをまとめた。2022年4月からの新カリキュラムに対応。



ISBN978-4-8058-8938-1

実習指導者・教員のための
地域・在宅看護
実習指導ガイドブック

●一般社団法人全国訪問看護事業協会＝監修／
尾崎章子＝編集
●定価2,860円(税込) B5判・212頁 2023年9月発行

実習の目的を共有し、実習計画や指導のあり方、評価方法など具体的な進め方、昨今の学生との関わり方等を紹介する。

ふくろうクリニック等々力・自由が丘・目白台

私たちは「かかりつけ総合診療所」です



世田谷区等々力で外来・訪問診療を開業してから13年。

力のある「真のかかりつけ医」を目指し、多くの診療科・専門医や多職種によるチーム医療と、地域に根付いた医療を実践しています。

等々力

訪問診療 認知症
緩和ケア 精神科

自由が丘

認知症 脳振盪 高次脳機能障害 神経難病
スポーツ医療 リハビリテーション医療

目白台

小児科 内科 老年科
健診・総合がん検診



徹底したかかりつけ医機能の充実（外来・在宅・健診の重層的整備）を図り、複数医師・複数診療科・複数事業所・多職種協働でチーム医療を行っています。

（職員採用HPIはこちら→）



訪問診療、訪問看護に加えて、暮らしの保健室など「地域へのアプローチ」も行っているクリニックです。

在宅看護では、患者様の生活の質を大切に考え、「家族と過ごせて良かった」「食べたいものが食べられた」など、在宅ならではの喜びを共に感じて感謝を頂いた時に、一番の充実感を感じます。保健室では、専門職との接点がない地域住民の方々の暮らしにも触れて、看護を活かす場が持っています。

五感を大切に、患者様の思いに寄り添った身近な看護をしていきたいと思っています。

訪問看護
認定看護師

小浦方



企業で働いた後、子育て中に学校へ通い、看護師になりました。

老年看護は、患者様の生きてきた人生を看て最期まで支えることができ、「これこそケア」だと感じています。現在、物忘れ外来を含む外来と訪問診療に勤務、患者様に関わらせていただける時間の中で、して差し上げられることを、また、寄り添った一言をお伝えできるよう心掛けています。多疾患併存や後遺症などがあるのは当たり前。患者様がゆたかに暮らしていけるよう支援していきたいです。ぜひ一緒に働いてみませんか。

老人看護専門看護師
長坂

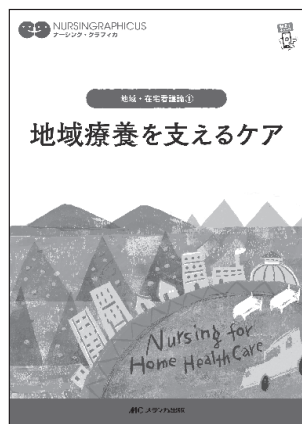




NURSINGGRAPHICUS
ナーシング・グラフィカ

地域・在宅看護論
2025 改訂

1年次でも学びやすく・親しみやすい・実践的な教科書へ



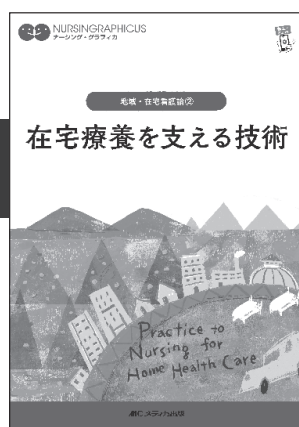
編集

石田 千絵 日本赤十字看護大学看護学部看護学科教授
臺 有桂 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科教授
山下 留理子 徳島大学大学院医歯薬学研究部地元創成看護学分野教授

①地域療養を支えるケア 第8版

「地域で暮らすすべての人」をみる視点がさらに充実！
これからの時代の「生きる」を支える看護師を育みます。

定価 3,410 円（本体+税10%） B5 判／ 288 頁
ISBN 978-4-8404-8471-8



②在宅療養を支える技術 第3版

病期や症状、疾患、治療を網羅し、
在宅療養者のより多様な「生活」を理解・支援できる一冊。

定価 3,630 円（本体+税10%） B5 判／ 320 頁
ISBN 978-4-8404-8472-5

オンライン
セミナー

学生の「状況を的確に把握し、自ら考えて動く力」を育む
地域・在宅看護演習の進め方を教えます！
講師は学会大会長の石田千絵先生

受講料 11,000円(税込)
申込締切 2025年9月30日
視聴期間 11月30日まで

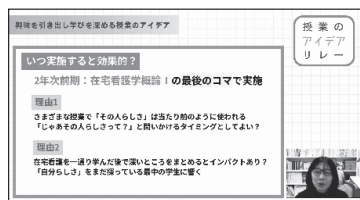
詳細・お申し込み <https://store.medica.co.jp/item/190990140> [メディカセミナー在宅看護演習](#) [Q 検索](#)

当社教科書・BeNs. 採用校限定 WEB サイト **看護教育力UPコミュニティ**

地域・在宅看護領域
コンテンツが充実！

授業のアイデアリレー

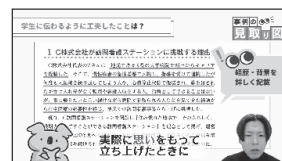
さまざまな先生方が教科書に沿って
授業づくりの工夫を動画で解説・実演！



学会大会長の
石田千絵先生
による動画も
公開中！

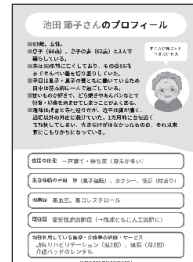
事例活用サポートパック

著者による解説動画・事例
イラスト・スライドがセットに！



私の生活記入シート & 実際の記入例

学生が記入できるワークシートと
実在の人物の記入例がDL可能！



【新規会員登録・ご利用方法】 [看護教育力UPコミュニティ](#) [Q 検索](#)

本サイトは当社商品「ナーシング・グラフィカ」または「デジタルナーシング・グラフィカ」、「BeNs.」いずれかの採用校に所属する看護教員限定の会員制サービスです。
新規登録は、<https://kangokyoiku.medica.co.jp/>にアクセス＞「新規ユーザー登録」へお進みください。「地域・在宅看護」領域のコンテンツは『ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論』①地域療養を支えるケア②在宅療養を支える技術のいずれかご採用校のみご利用可能です。

MC メディカ出版

お客様センター ☎ 0120-276-115

www.medica.co.jp

本社 〒532-8588 大阪市淀川区宮原3-4-30 ニッセイ新大阪ビル16F

大切な人があなたのことを忘れてしまったら？
子どもたちの作文に答えのヒントがある！

新刊

それが、 おばあちゃんなのだ。

子どもの目から読み解く認知症

編者
藤川幸之助

B5変形／76頁
定価：本体1,200円＋税



「寄り添う」本当の意味とは

「認知症だから仕方ない」だけでは終わらない。

おばあちゃんを笑顔に！

苦手な黒飴も、おばあちゃんとの交換日記。

子どもたちの作文と、それを見守る詩人の優しい眼差し。

忘れかけていた大切な記憶、揺るがない家族の絆。

読後、きっとあなたの心にも温かな何かが灯ります。



株式会社 ワールドプランニング
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1
E-mail wp-office@worldpl.co.jp

TEL :03-5206-7431
FAX :03-5206-7757

<https://www.worldpl.co.jp>

利用者に必要な医療福祉サービスを見つけ、活用するためのガイドブック!



医療福祉サービス ガイドブック

2025
年度版

編集 鈴木 豊・河村愛子・小林夏紀・
関田 歩・平林朋子

様々な人の生活を支え、支援する医療福祉サービスを解説したガイドブックの2025年度版。最新情報をフォローし、医療福祉サービスをわかりやすく解説! 医療保険、介護保険、障害者総合支援法、子供のいる家庭への支援、生活保護、年金保険等、医療福祉サービスを幅広く網羅した、医療福祉関係者必携の1冊。

●B5 頁336 2025年 定価: 3,300円 (本体3,000円+税10%) [ISBN978-4-260-06026-4]



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <https://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売・PR部] TEL: 03-3817-5650 FAX: 03-3815-7804 E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp

STANDARD
CARE
スタンダードケア・シリーズ

エビデンスに
基づく
科学的看護 × エキスパート
ナースの
熟練した技術

在宅ケアを必要とする
すべての人々の

「暮らしの場」で
行われる

自立を目指した支援の
スタンダード

在宅での生活支援の技術として、「食ること」「眠ること」「薬を飲むこと」
「体を動かすこと」を取り上げた実践書



スタンダードケア・シリーズ
在宅ケア
スタンダード

編集 ●
一般社団法人 日本在宅ケア学会

定価: 3,300円 (本体3,000円+税)
B5判/224頁/ISBN978-4-7965-2648-7

CONTENTS

- 第1章 自分らしい生活を支えるケアの基盤
- 第2章 ケアを必要とする人(または、受けて)と家族の生活の質を向上するケア
- 第3章 ケアを必要とする人(または、受けて)の価値観を尊重したケアの選択とマネジメント
- 第4章 在宅でその人らしく生きることを支える実践知に基づくケア



照林社

〒112-0002 東京都文京区小石川2-3-23 営業部: TEL (03)5689-7377 FAX (03)5689-7577
●当社ホームページにて試し読みができます! ▶ <http://www.shorinsha.co.jp/>

ホームページは
こちらから



リサイクルと物流に貢献する



本社 / 〒664-0845 兵庫県伊丹市東有岡五丁目33番地
TEL(072)784-6001 FAX(072)784-6688

東京本社 / 〒108-0075 東京都港区港南1丁目2番70号
品川シーズンテラス7F
TEL(03)4376-7000 FAX(03)4376-7001
<https://www.settsucarton.co.jp/>



メヂカルフレンド社 お薦め書籍

保健学講座①

公衆衛生看護学概論

◎248頁

◎ISBN 978-4-8392-2188-1

◎定価 3,410円(本体3,100円+税)

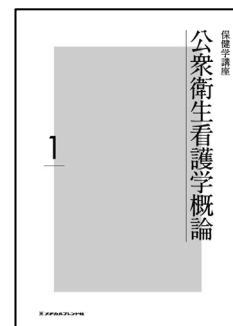
■編集

村嶋 幸代 湘南医療大学大学院教授

岸 恵美子 東邦大学看護学部教授

✓おすすめポイント

- 公衆衛生看護の概念、活動の対象・場・環境など、活動の基礎を具体的に解説しています。
- 公衆衛生看護活動の基盤となる理論・モデルについては基礎的知識の説明にとどまらず、活動するなかで実際に起こり得る場面を想定し、活用できる理論・モデルを探りあてていく思考過程を紹介しています。
- 近年、重要性が増している健康危機管理についてはページ数を増やして動向を記述し、今後求められる役割について考えていきます。



共生社会をめざす

地域包括ケア論 基本から実践につながる演習まで

◎272頁

◎ISBN 978-4-8392-1744-0

◎定価 2,750円(本体2,500円+税)

■編著

王 麗華 大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科教授

平山 香代子 和洋女子大学看護学部看護学科准教授

✓おすすめポイント

- 新カリキュラムに準拠しているため、地域・在宅看護を学ぶ教科書・参考書に最適です。
- 地域包括ケアについて基本的な知識から、実践・事例・演習まで幅広く総合的に解説しています。
- 学生から現役看護師まで活用できる、様々なニーズに応えた1冊です。



最も引用されている世界の専門家が認める質的データ分析支援ソフトウェア

NVIVO

視覚化ツールで、分析・考察を深める

データの一元管理

インタビュー・アンケート自由回答の分析

自動コーディング

AI アシスタントで要約

頻出語・検索クエリ

無料トライアル

直感的な操作性と、英語・日本語を含む多言語対応で、誰でも簡単に使いこなせます。
コーディング作業が驚くほど進化！ NVivo で、研究を次のステージへ！

NVivo トライアル



ユサコ株式会社
<https://www.usaco.co.jp>

■購入に関するお問い合わせ shop@usaco.co.jp



<NVivo 紹介サイト>



<NVivo：使いやすい分割画面>



NVIVO

TRANSCRIPTION

自動文字起こしサービス

アドオンサービス

音声・動画ファイルからクラウド上でセキュアに文字起こしが可能。

産業保健・健康経営専門



健康経営コンサルティングサービス

サービス例) 従業員向け健康セミナー、ストレスチェックサービス
産業医療職人材サービス、クラウド型健康管理システム
予防医療診断ツール、健康イベント など



産業看護職向けスキルアップ講座

開催例) 初の連載講座・習熟度別 「メンタルヘルス講座」
健康経営の基礎から学べる 「健康経営基礎セミナー」
時代の変化に合わせたテーマ 「プライマリー・プロGRESSセミナー」



全国の産業保健求人を取扱っております

常勤・非常勤産業医求人をはじめ、産業看護職の求人も取扱っております。



ストレスチェックの見直し、健康管理のシステム化等もご相談賜ります。



プライマリー・アシスト株式会社

TEL : 0120-305-605

MAIL: kenmk@primary-assist.co.jp

HP・各種SNSはこちら⇒



日本地域看護学会第28回学術集会

事務局 日本赤十字看護大学看護学部地域看護学
〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3 (広尾キャンパス)

運営事務局 株式会社プロコムインターナショナル
〒135-0063 東京都江東区有明三丁目6番地11 TFTビル東館9階
TEL : 03-5520-8821 FAX : 03-5520-8820
E-mail : jachn28@procom-i.jp

オンライン開催ページ

<https://online-conference.jp/jachn28>

学術集会Webサイト

<https://procomu.jp/jachn2025/index.html>